

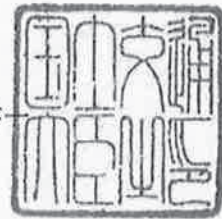
認 定 書

国住指第 1669 号
平成 30 年 9 月 11 日

株式会社 LIXIL
取締役社長 瀬戸 欣哉 様



国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

PC030BE-3762(2)

2. 認定をした構造方法等の名称

硬質ウレタンフォーム板充てん／窯業系サイディング・構造用面材〔木質系ボード又は火山性ガラス質複層板〕表張／せっこうボード・内装下地面材〔木質系ボード又は火山性ガラス質複層板〕裏張／木製軸組造外壁

3. 認定をした構造方法等の内容

別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名

硬質ウレタンフォーム板充てん／窯業系サイディング・構造用面材〔木質系ボード又は火山性ガラス質複層板〕表張／せっこうボード・内装下地面材〔木質系ボード又は火山性ガラス質複層板〕裏張／木製軸組造外壁

2. 寸法および形状等

(寸法単位：mm)

項目	仕様
壁高	構造計算等により構造安全性が確かめられた寸法とする
壁厚	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)真壁の場合 138 \pm 3以上 (2)大壁の場合 147.5 \pm 3以上
壁の構造	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)真壁 (2)大壁

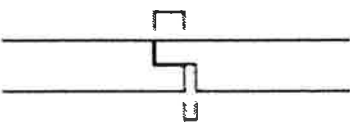
3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目	仕様
①柱(荷重支持部材)	・規格 (1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする (1)平成12年建設省告示第1452号に規定する構造用製材(JAS) (2)平成13年国土交通省告示第1024号に規定する構造用集成材(JAS) (3)平成13年国土交通省告示第1024号に規定する単板積層材(JAS) (4)平成12年建設省告示第1452号に規定する無等級材 ・密度 0.38 \pm 0.08g/cm ³ 以上 ・断面形状 100×100の断面寸法以上 ・欠き込み幅 内装材+0.5以下(真壁のみ) ・欠き込み深さ 15以下(真壁のみ)
②パネル間柱	木(製材または集成材) ・断面形状 24×60の断面寸法以上 ・間隔 500以下
③胴縁	木(製材または集成材) ・断面形状 15×45の断面寸法以上 ・間隔 500以下
④パネル枠	木(製材または集成材) (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)あり ・断面形状 2×40の断面寸法以上 (2)なし
⑤内装受材	木(製材または集成材) (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)あり(大壁の場合に限る) ・断面形状 30×100の断面寸法以下 ・間隔 1000以下 (2)なし

項 目	仕 様															
6 外装材	<p>窯業系サイディング</p> <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) パルプ繊維混入セメント板</p> <p>[1] 基材</p> <p>パルプ繊維混入セメント板</p> <p>・組成(質量%)</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="font-size: 2em;">{</td> <td>セメント質原料</td> <td style="text-align: right;">70\pm7~84\pm8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>有機質繊維</td> <td style="text-align: right;">4\pm2~12\pm2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>有機質混和材</td> <td style="text-align: right;">0~2\pm1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>無機質繊維</td> <td style="text-align: right;">0~1\pm1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>無機質混和材</td> <td style="text-align: right;">3\pm1~20\pm3</td> </tr> </table> <p>但し、</p> <p>・混和材料</p> <p style="margin-left: 40px;">有機質：パルプ粉、撥水剤等</p> <p style="margin-left: 40px;">無機質：マカ、無機質骨材等</p> <p>[2] 表面塗装</p> <p>・材質 (1)~(12)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) アクリルウレタン樹脂系塗料</p> <p>(2) アクリル樹脂系塗料</p> <p>(3) アクリルシリコン樹脂系塗料</p> <p>(4) フッ素樹脂系塗料</p> <p>(5) エポキシ樹脂系塗料</p> <p>(6) ポリシロキサン系塗料</p> <p>(7) ポリウレタン樹脂系塗料</p> <p>(8) イソシアネート樹脂系塗料</p> <p>(9) シリコン樹脂系塗料</p> <p>(10) 塩化ビニル樹脂系塗料</p> <p>(11) ポリエステル樹脂系塗料</p> <p>(12) 無機系塗料</p> <p>・塗布量 180g/m²以下 (有機固形分)</p> <p>[3] かさ比重 1.00\pm0.2(絶乾)以上</p> <p>[4] 形状</p> <p>[4]-1 外形寸法</p> <p>・厚さ 14\pm1.4~25\pm2.0</p> <p>・幅 455\pm3.0~1000\pm3.0</p> <p>[4]-2 端部形状</p> <p>サイディング相互の重なりと隙間</p> <p>・重なり 8以上</p> <p>・隙間 1以下</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <p>[4]-3 断面形状</p> <p>・最小厚さ 11\pm1.0以上を確保</p> <p>・容積欠損率(模様深さ)(%) 10以下</p> <p>(但し、板厚14mmを超える場合は裏面から14mm以下の模様による欠損率とする)</p>	{	セメント質原料	70 \pm 7~84 \pm 8		有機質繊維	4 \pm 2~12 \pm 2		有機質混和材	0~2 \pm 1		無機質繊維	0~1 \pm 1		無機質混和材	3 \pm 1~20 \pm 3
{	セメント質原料	70 \pm 7~84 \pm 8														
	有機質繊維	4 \pm 2~12 \pm 2														
	有機質混和材	0~2 \pm 1														
	無機質繊維	0~1 \pm 1														
	無機質混和材	3 \pm 1~20 \pm 3														

項 目	仕 様																				
<p>6 外装材 (つづき)</p>	<p>[4]-4 水密材 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)なし (2)合成ゴム 使用量 5g/m 以下</p> <p>[5]張方 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1)横張 (2)縦張</p> <p>[6]固定方法 くぎ又はねじ留め</p> <p>(2) 木繊維混入セメントけい酸カルシウム板</p> <p>[1]基材 木繊維混入セメントけい酸カルシウム板 ・組成(質量%)</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">セメント質原料(セメント, けい酸質原料)</td> <td style="padding: 0 5px;">70\pm4</td> <td style="padding: 0 5px;">～</td> <td style="padding: 0 5px;">79\pm4</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">木繊維(木片、木繊維、木質系繊維等)</td> <td style="padding: 0 5px;">11\pm1</td> <td style="padding: 0 5px;">～</td> <td style="padding: 0 5px;">15\pm1</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">無機質系混和材(マイカ、無機質系骨材等)</td> <td style="padding: 0 5px;">4\pm1</td> <td style="padding: 0 5px;">～</td> <td style="padding: 0 5px;">14\pm1</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">有機質系混和材(パルプ粉, ポリスチレンビーズ等)</td> <td style="padding: 0 5px;">1\pm1</td> <td style="padding: 0 5px;">～</td> <td style="padding: 0 5px;">3\pm1</td> </tr> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 5px;">無機質系繊維(ガラス繊維等)</td> <td style="padding: 0 5px;">0</td> <td style="padding: 0 5px;">～</td> <td style="padding: 0 5px;">1\pm1</td> </tr> </table> <p>[2]表面塗装 ・材質 (1)～(12)のうち、いずれか一仕様とする (1)アクリルウレタン樹脂系塗料 (2)アクリル樹脂系塗料 (3)アクリルシリコーン樹脂系塗料 (4)フッ素樹脂系塗料 (5)エポキシ樹脂系塗料 (6)ポリシロキサン系塗料 (7)ポリウレタン樹脂系塗料 (8)イソシアネート樹脂系塗料 (9)シリコーン樹脂系塗料 (10)塩化ビニル樹脂系塗料 (11)ポリエステル樹脂系塗料 (12)無機系塗料 ・塗布量 185g/m² 以下(表裏合計有機固形分)</p> <p>[3]かさ比重 1.15\pm0.15g/cm³(絶乾)以上</p> <p>[4]形状</p> <p>[4]-1 外形寸法 ・厚 さ 14\pm1.4～25\pm2.0 ・幅 455\pm3.0～1000\pm3.0</p> <div style="text-align: center;"> <p>重なり</p>  <p>隙間</p> </div> <p>[4]-2 端部形状 サイディング相互の重なりと隙間 ・重なり 8 以上 ・隙間 1 以下</p>	セメント質原料(セメント, けい酸質原料)	70 \pm 4	～	79 \pm 4	木繊維(木片、木繊維、木質系繊維等)	11 \pm 1	～	15 \pm 1	無機質系混和材(マイカ、無機質系骨材等)	4 \pm 1	～	14 \pm 1	有機質系混和材(パルプ粉, ポリスチレンビーズ等)	1 \pm 1	～	3 \pm 1	無機質系繊維(ガラス繊維等)	0	～	1 \pm 1
セメント質原料(セメント, けい酸質原料)	70 \pm 4	～	79 \pm 4																		
木繊維(木片、木繊維、木質系繊維等)	11 \pm 1	～	15 \pm 1																		
無機質系混和材(マイカ、無機質系骨材等)	4 \pm 1	～	14 \pm 1																		
有機質系混和材(パルプ粉, ポリスチレンビーズ等)	1 \pm 1	～	3 \pm 1																		
無機質系繊維(ガラス繊維等)	0	～	1 \pm 1																		

項 目	仕 様
6 外装材 (つづき)	[4]-3 断面形状 <ul style="list-style-type: none"> ・最小厚さ $10_{\pm 1.0}$以上を確保 ・容積欠損率(模様深さ)(%) 10以下 (但し、板厚14mmを超える場合は裏面から14mm以下の模様による欠損率とする) [4]-4 水密材 <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)なし</p> <p>(2)合成ゴム 使用量 5g/m以下</p> [5]張方 <p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)横張</p> <p>(2)縦張</p> [6]固定方法 くぎ又はねじ留め
7 構造用面材	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする <p>(1)木質系ボード</p> <p>1)~4)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1)構造用合板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JAS ・厚さ 9以上 <p>2)構造用パネル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JAS ・厚さ 9以上 <p>3)ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5905 ・厚さ 9以上 ・密度 0.70g/cm^3以上 <p>4)パーティクルボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5908 ・厚さ 9以上 <p>(2)火山性ガラス質複層板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5440 ・厚さ 9以上

項 目	仕 様																																																		
8 断熱材	<p>硬質ウレタンフォーム板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚さ 大壁の場合 充てん 50~100\pm10 <ul style="list-style-type: none"> 外張 0~100\pm10 内張 0~100\pm10 真壁の場合 充てん 50~75\pm10 <ul style="list-style-type: none"> 外張 0~100\pm10 ・密度 38~57\pm5kg/m³ ・酸素指数 20\pm2 以上 ・イソシアネート指数 90 以上 ・組成 <p>原料組成(質量%)は、(1)~(5)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>ポリイソシアネート</td><td>59\pm6</td></tr> <tr><td>ポリエーテル系ポリオール</td><td>32\pm4</td></tr> <tr><td>水</td><td>2\pm3, -2</td></tr> <tr><td>難燃剤(リン酸エステル系)</td><td>5\pm2</td></tr> <tr><td>ウレタン化触媒、製泡剤など</td><td>2\pm3, -2</td></tr> </table> <p>(2)</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>ポリイソシアネート</td><td>57\pm6</td></tr> <tr><td>ポリエーテル系ポリオール</td><td>31\pm4</td></tr> <tr><td>水</td><td>2\pm3, -2</td></tr> <tr><td>難燃剤(リン酸エステル系)</td><td>8\pm2</td></tr> <tr><td>ウレタン化触媒、製泡剤など</td><td>2\pm3, -2</td></tr> </table> <p>(3)</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>ポリイソシアネート</td><td>57\pm6</td></tr> <tr><td>ポリエーテル系ポリオール</td><td>36\pm4</td></tr> <tr><td>難燃剤(リン酸エステル系)</td><td>5\pm2</td></tr> <tr><td>ウレタン化触媒、製泡剤など</td><td>2\pm3, -2</td></tr> <tr><td>発泡剤(HFC系、HFO系、CP系)</td><td>0~24\pm3 (外割)</td></tr> </table> <p>(4)</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>ポリイソシアネート</td><td>55\pm6</td></tr> <tr><td>ポリエーテル系ポリオール</td><td>34\pm4</td></tr> <tr><td>難燃剤(リン酸エステル系)</td><td>9\pm2</td></tr> <tr><td>ウレタン化触媒、製泡剤など</td><td>2\pm3, -2</td></tr> <tr><td>発泡剤(HFC系、HFO系、CP系)</td><td>0~24\pm3 (外割)</td></tr> </table> <p>(5)</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr><td>ポリイソシアネート</td><td>62\pm6</td></tr> <tr><td>ポリエーテル系ポリオール</td><td>30\pm4</td></tr> <tr><td>難燃剤(リン酸エステル系)</td><td>5\pm2</td></tr> <tr><td>ウレタン化触媒、製泡剤など</td><td>3\pm3</td></tr> <tr><td>発泡剤(HFC系、HFO系、CP系)</td><td>0~24\pm3 (外割)</td></tr> </table>	ポリイソシアネート	59 \pm 6	ポリエーテル系ポリオール	32 \pm 4	水	2 \pm 3, -2	難燃剤(リン酸エステル系)	5 \pm 2	ウレタン化触媒、製泡剤など	2 \pm 3, -2	ポリイソシアネート	57 \pm 6	ポリエーテル系ポリオール	31 \pm 4	水	2 \pm 3, -2	難燃剤(リン酸エステル系)	8 \pm 2	ウレタン化触媒、製泡剤など	2 \pm 3, -2	ポリイソシアネート	57 \pm 6	ポリエーテル系ポリオール	36 \pm 4	難燃剤(リン酸エステル系)	5 \pm 2	ウレタン化触媒、製泡剤など	2 \pm 3, -2	発泡剤(HFC系、HFO系、CP系)	0~24 \pm 3 (外割)	ポリイソシアネート	55 \pm 6	ポリエーテル系ポリオール	34 \pm 4	難燃剤(リン酸エステル系)	9 \pm 2	ウレタン化触媒、製泡剤など	2 \pm 3, -2	発泡剤(HFC系、HFO系、CP系)	0~24 \pm 3 (外割)	ポリイソシアネート	62 \pm 6	ポリエーテル系ポリオール	30 \pm 4	難燃剤(リン酸エステル系)	5 \pm 2	ウレタン化触媒、製泡剤など	3 \pm 3	発泡剤(HFC系、HFO系、CP系)	0~24 \pm 3 (外割)
ポリイソシアネート	59 \pm 6																																																		
ポリエーテル系ポリオール	32 \pm 4																																																		
水	2 \pm 3, -2																																																		
難燃剤(リン酸エステル系)	5 \pm 2																																																		
ウレタン化触媒、製泡剤など	2 \pm 3, -2																																																		
ポリイソシアネート	57 \pm 6																																																		
ポリエーテル系ポリオール	31 \pm 4																																																		
水	2 \pm 3, -2																																																		
難燃剤(リン酸エステル系)	8 \pm 2																																																		
ウレタン化触媒、製泡剤など	2 \pm 3, -2																																																		
ポリイソシアネート	57 \pm 6																																																		
ポリエーテル系ポリオール	36 \pm 4																																																		
難燃剤(リン酸エステル系)	5 \pm 2																																																		
ウレタン化触媒、製泡剤など	2 \pm 3, -2																																																		
発泡剤(HFC系、HFO系、CP系)	0~24 \pm 3 (外割)																																																		
ポリイソシアネート	55 \pm 6																																																		
ポリエーテル系ポリオール	34 \pm 4																																																		
難燃剤(リン酸エステル系)	9 \pm 2																																																		
ウレタン化触媒、製泡剤など	2 \pm 3, -2																																																		
発泡剤(HFC系、HFO系、CP系)	0~24 \pm 3 (外割)																																																		
ポリイソシアネート	62 \pm 6																																																		
ポリエーテル系ポリオール	30 \pm 4																																																		
難燃剤(リン酸エステル系)	5 \pm 2																																																		
ウレタン化触媒、製泡剤など	3 \pm 3																																																		
発泡剤(HFC系、HFO系、CP系)	0~24 \pm 3 (外割)																																																		

項 目	仕 様
9 内装下地面材	<p>(1)～(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)木質系ボード</p> <p>1)～5)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1)構造用合板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JAS ・厚さ 5 以上 <p>2)構造用パネル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JAS ・厚さ 9 以上 <p>3)普通合板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JAS ・厚さ 2.3 以上 <p>4)ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5905 ・厚さ 2.5 以上 <p>5)パーティクルボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5908 ・厚さ 9 以上 <p>(2)火山性ガラス質複層板</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 5440 ・厚さ 9 以上
10 内装材	<p>せっこうボード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規格 JIS A 6901 ・厚さ 9.5 以上 <p>・端部処理 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)スクエア (2)ベベル (3)テーパ

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
① 目地材	<p>目地は[1]～[7]のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>[1]シール材</p> <p>(1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)変成シリコン系シーリング材</p> <p>(2)ポリウレタン系シーリング材</p> <p>(3)ポリサルファイド系シーリング材</p> <p>(4)塩化ビニルガスケット</p> <p>・規格 JIS A 5756</p> <p>(5)合成ゴムガスケット</p> <p>・規格 JIS A 5756</p> <p>・使用量 59.6g/m以上 ([2]又は[3]との併用の場合は56g/m以上)</p> <p>[2]バックアップ材 ([1]との併用に限る)</p> <p>・材質 (1)～(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)ポリエチレン系樹脂</p> <p>(2)ポリスチレン系樹脂</p> <p>・使用量 3.6±3g/m以上</p> <p>[3]ハット型ジョイナー</p> <p>(1)～(19)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3312)</p> <p>(2)塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3322)</p> <p>(3)塗装/亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定：NM-8697)</p> <p>(4)溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3302)</p> <p>(5)溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3317)</p> <p>(6)塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3318)</p> <p>(7)溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3321)</p> <p>(8)ポリ塩化ビニル被覆金属板(JIS K 6744、金属板のアルミニウム又はアルミニウム合金板は除く)</p> <p>(9)熱間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4304)</p> <p>(10)冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305)</p> <p>(11)溶融亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウムめっき鋼板</p> <p>(12)溶融亜鉛-11%アルミニウム-3%マグネシウム-0.2%シリコン合金めっき鋼板</p>

項 目	仕 様
①目地材(つづき)	<p>(13)ポリエチレン被覆溶融亜鉛めっき鋼板 (14)一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101) (15)冷間圧延鋼板及び鋼帯(JIS G 3141) (16)熱間圧延軟鋼板及び鋼帯(JIS G 3131) (17)電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(JIS G 3313) (18)溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 および鋼帯(JIS G 3323) (19)建築構造用溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき 鋼板(国土交通大臣認定指定建築材料：MSTL-0064、0065、0069、 0070、0362 及び 0395)</p> <p>・厚さ 0.27 以上 ・幅 40 以上</p> <p>[4]水切りジョイナー ・材料は、[3](1)～(19)の仕様 ・厚さ 0.27 以上 ・幅 40 以上</p> <p>[5]なし 本実・合じゃくり又は突き付け目地の場合</p> <p>ただし、充てん+外張り断熱の場合、サイディング横張りの 目地部は、[3]又は[7]とする。</p> <p>[6] [1]のシール材と[2]のバックアップ材の併用 [7] [1]のシール材と[3]のハット型ジョイナーの併用</p>
②防水紙	<p>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)アスファルトフェルト ・規 格 JIS A 6005 ・単位面積質量 430g/m² 以下</p> <p>(2)透湿防水シート ・規 格 JIS A 6111 ・厚 さ 0.5 以下</p> <p>(3)なし</p>

項 目	仕 様
③くぎ・ねじ	<p>[1]パネル用 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)くぎ ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鋼製 ・寸法 $\phi 2.75$ 以上×L50 以上 ・間隔 150 以下</p> <p>(2)くぎとねじの併用 くぎ ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鋼製 ・寸法 $\phi 2.75$ 以上×L50 以上 ・間隔 150 以下 ねじ ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鋼製 ・寸法 $\phi 2.75$ 以上×L50 以上 ・間隔 300 以下</p> <p>[2]外装材留付け用 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)くぎ ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鋼製 ・寸法 $\phi 2.3$ 以上×L40 以上 ・間隔 外装材働き幅方向 203 以下</p> <p>(2)ねじ ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鋼製 ・寸法 $\phi 2.3$ 以上×L40 以上 ・間隔 外装材働き幅方向 203 以下</p> <p>[3]内装材用 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)くぎ ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鋼製 ・寸法 $\phi 2.34$ 以上×L38.1 以上 ・間隔 周辺部 150 以下、中間部 200 以下</p> <p>(2)ねじ ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鋼製 ・寸法 $\phi 2.34$ 以上×L38.1 以上 ・間隔 周辺部 150 以下、中間部 200 以下</p>

項 目	仕 様
③くぎ・ねじ (つづき)	<p>[4]胴縁用 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)くぎ <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鋼製 ・寸法 $\phi 2.1$ 以上×L45 以上 ・間隔 500 以下 </p> <p>(2)ねじ <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鋼製 ・寸法 $\phi 2.1$ 以上×L45 以上 ・間隔 500 以下 </p> <p>[5]ハット型ジョイナー用 くぎ <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鋼製 ・寸法 $\phi 2.3$ 以上×L40 以上 ・間隔 1000 以下 </p> <p>[6]防水紙、防湿シート用 ステーブル <ul style="list-style-type: none"> ・材質 1)、2)のうち、いずれか一仕様とする 1)ステンレス 2)鋼製 ・寸法 幅 10 以上×長さ 6 以上 ・間隔 500 以下 </p>
④隙間補修材 A	<p>(1)～(4)のうち、いずれか一仕様または組合せとする</p> <p>(1)EPDM系 <ul style="list-style-type: none"> ・使用量 170g/m 以下 ・幅 $140_{\pm 2}$ 以下 </p> <p>(2)ポリエチレン付きEPDM系 <ul style="list-style-type: none"> ・使用量 170g/m 以下 ・幅 $140_{\pm 2}$ 以下 </p> <p>(3)塩化ビニル系 <ul style="list-style-type: none"> ・使用量 170g/m 以下 ・幅 $140_{\pm 2}$ 以下 </p> <p>(4)なし</p>
⑤隙間補修材 B	<p>(1)～(3)のうち、いずれか一仕様または組合せとする</p> <p>(1)EPDM系 <ul style="list-style-type: none"> ・使用量 170g/m 以下 ・幅 $140_{\pm 2}$ 以下 </p> <p>(2)ブチル系 <ul style="list-style-type: none"> ・使用量 240g/m 以下 ・幅 $140_{\pm 2}$ 以下 </p> <p>(3)なし</p>

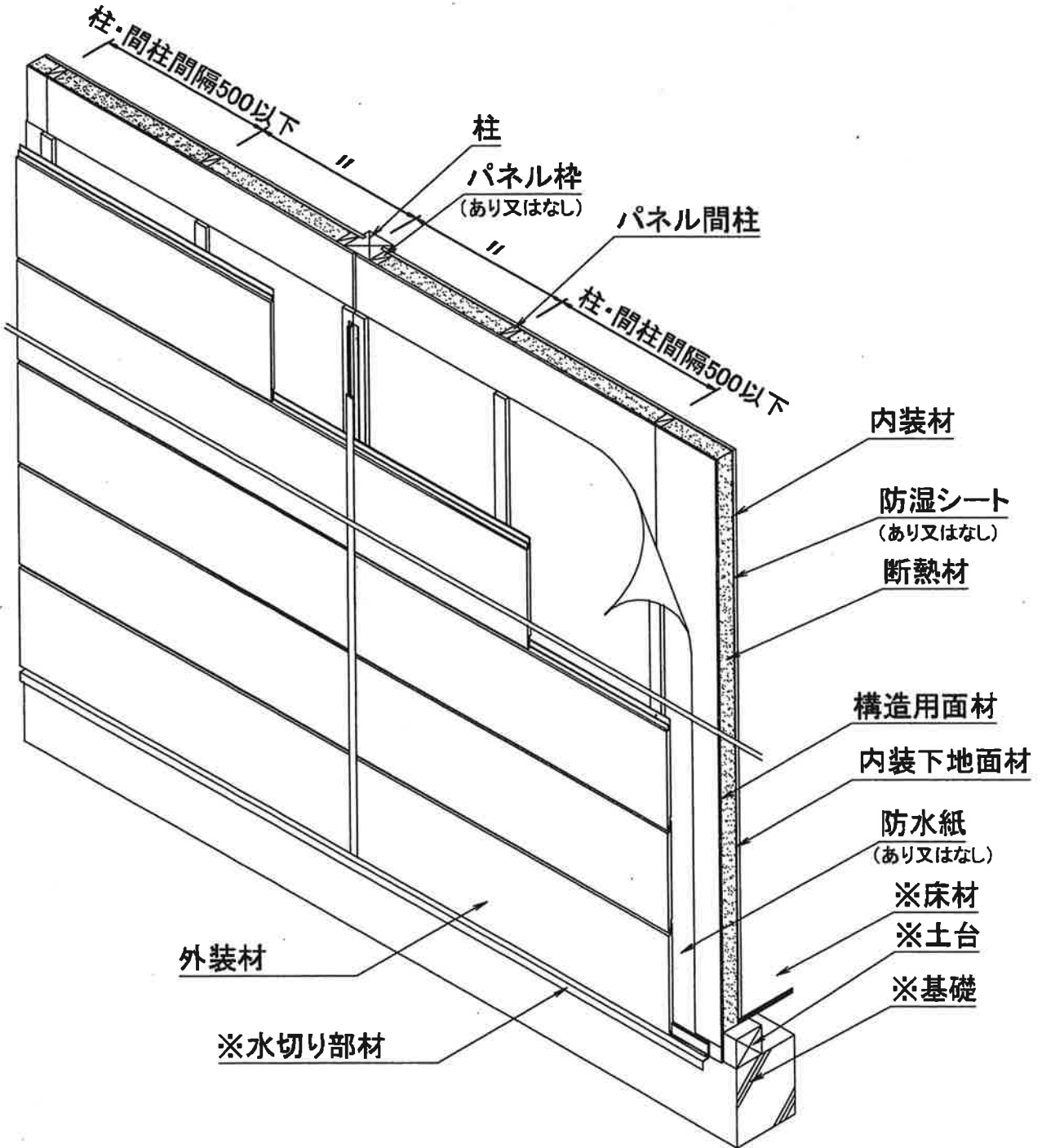
(寸法単位：mm)

項 目	仕 様
⑥内装材用目地処理材	(1)～(3)のうち、いずれか一仕様または組合せとする (1) ジョイントコンパウンド ・使用量 10g/m 以上 (2) ガラス繊維テープ ・寸法 幅 30 以上×厚さ 0.02 以上 (3) なし
⑦防湿シート	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) ポリエチレン系 ・厚 さ 0.2 以下 (2) なし

4. 構造説明図

(寸法単位:mm)

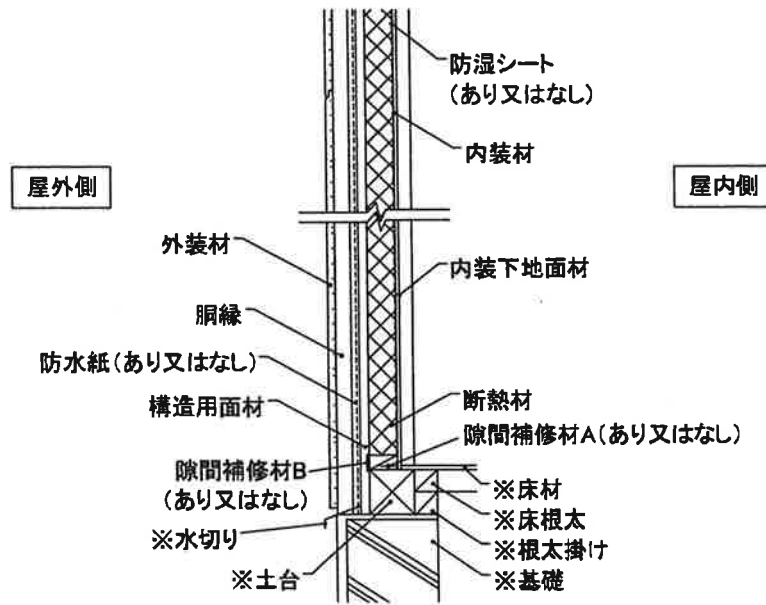
外装材横張・真壁(欠き込みあり)の場合



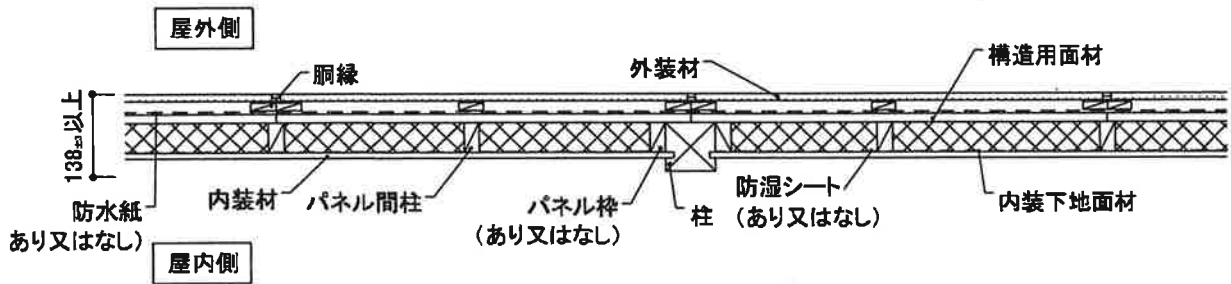
透視図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

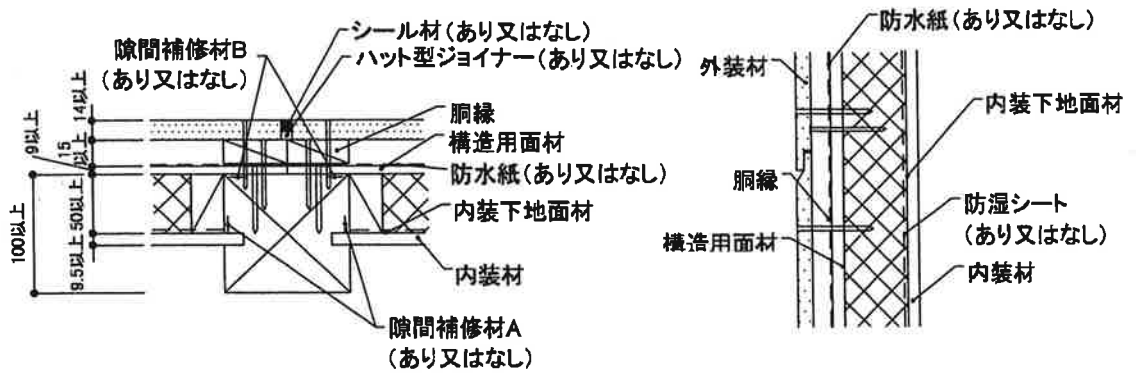
※: 本評価内容に含まない



鉛直断面図



水平断面図

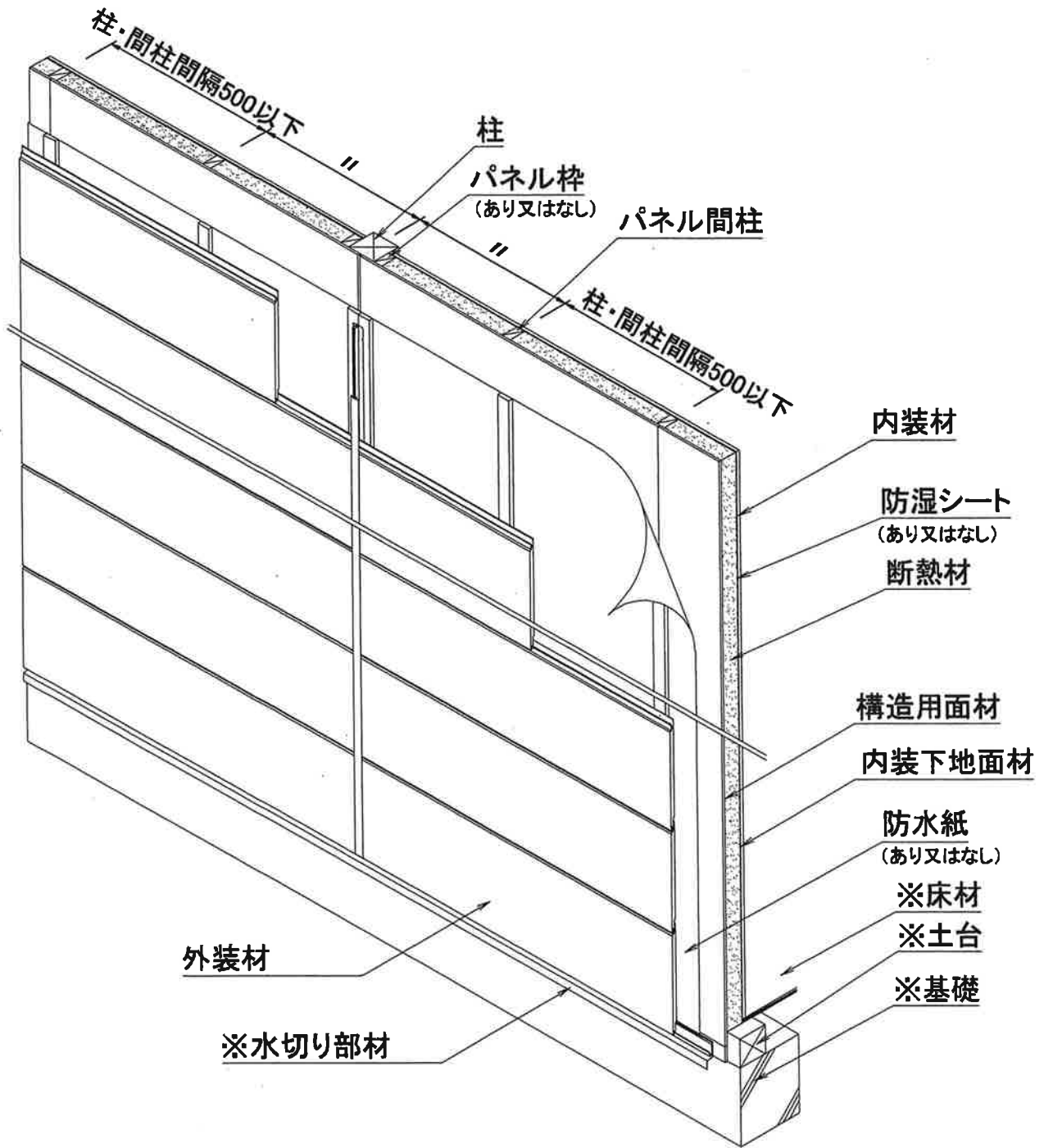


詳細図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

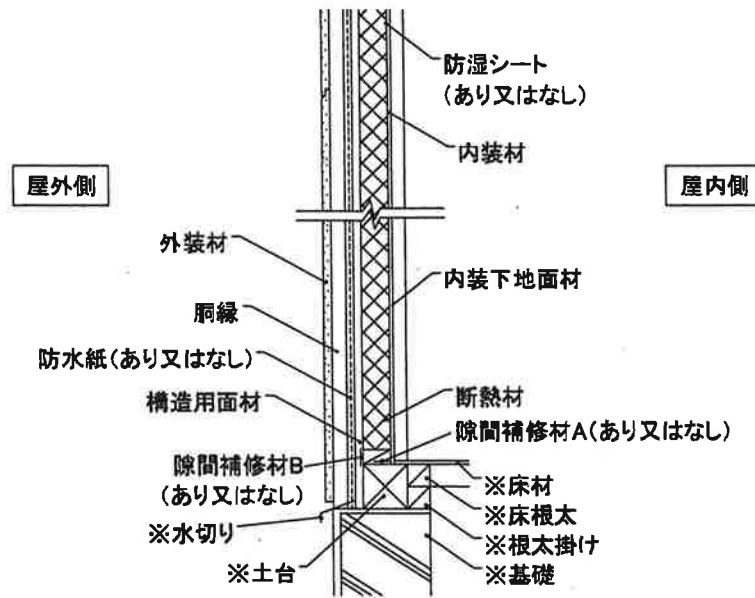
外装材横張・真壁(欠き込みなし) の場合



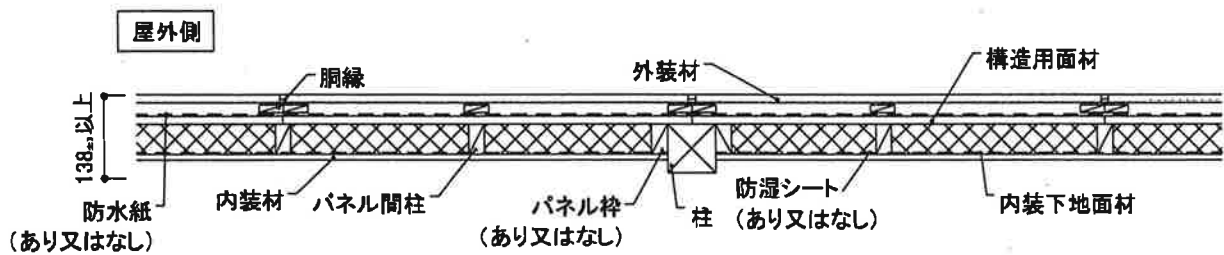
透視図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

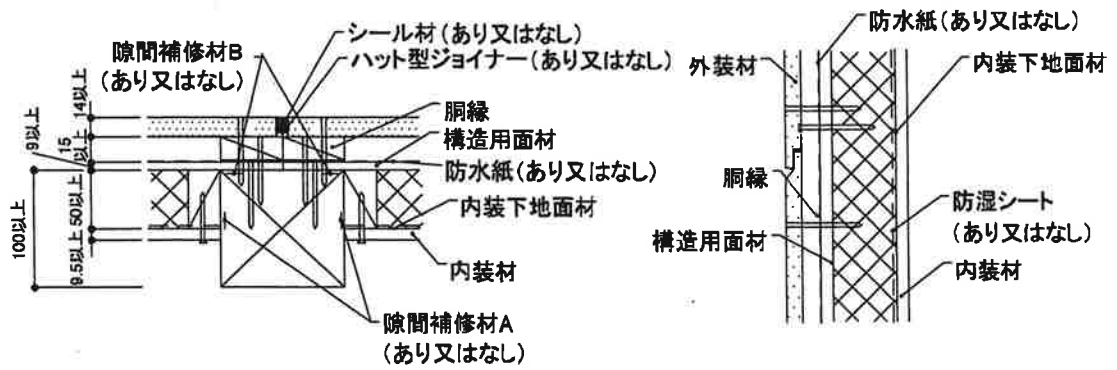
※：本評価内容に含まない



鉛直断面図



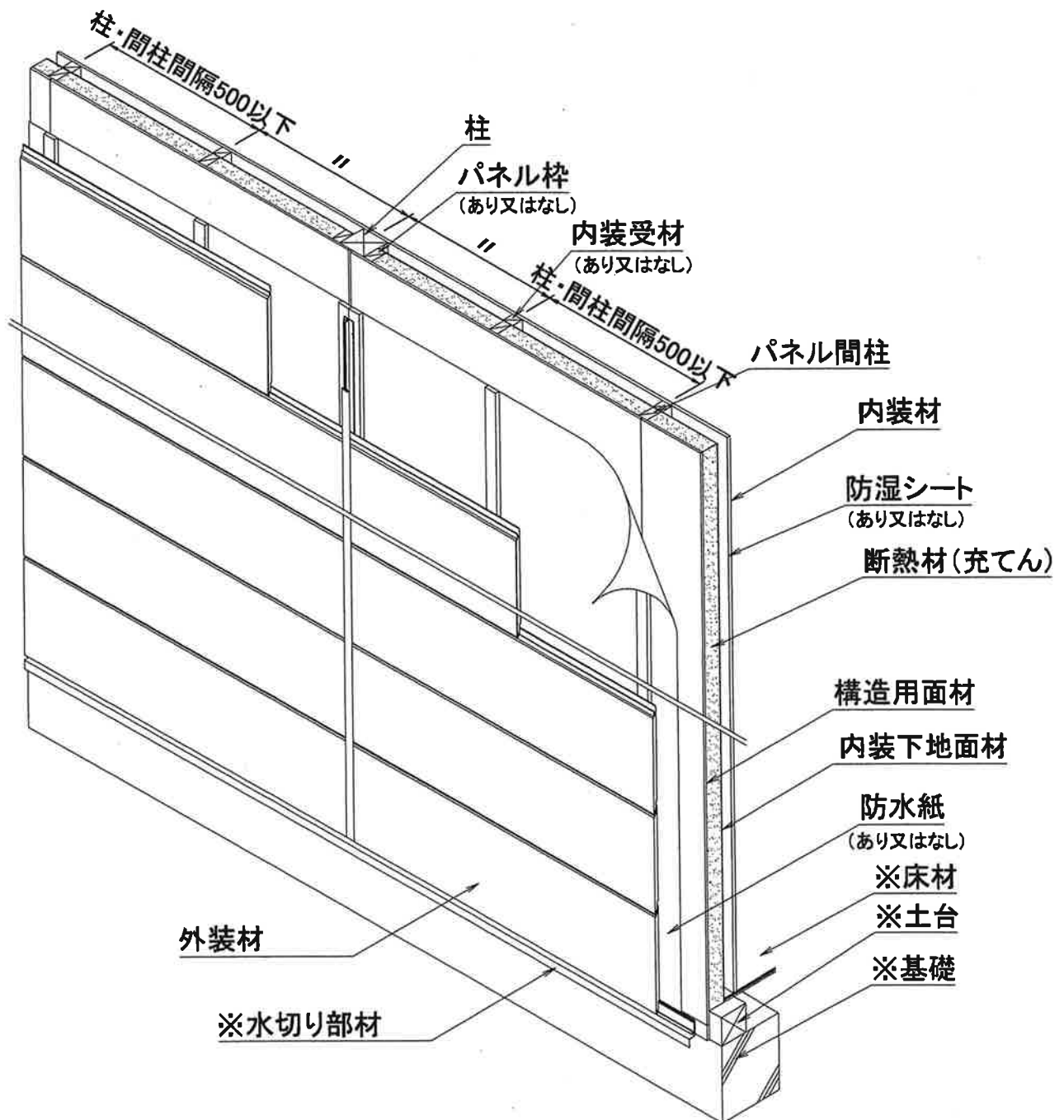
水平断面図



詳細図

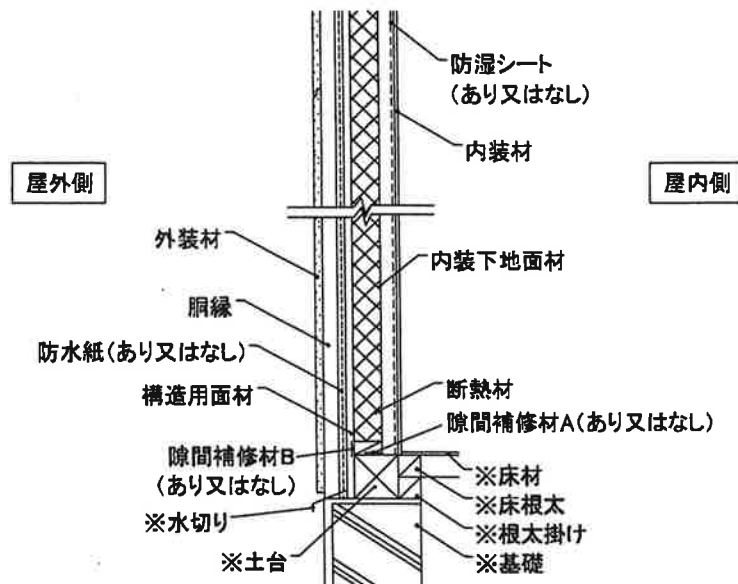
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり
※：本評価内容に含まない

外装材横張・大壁の場合

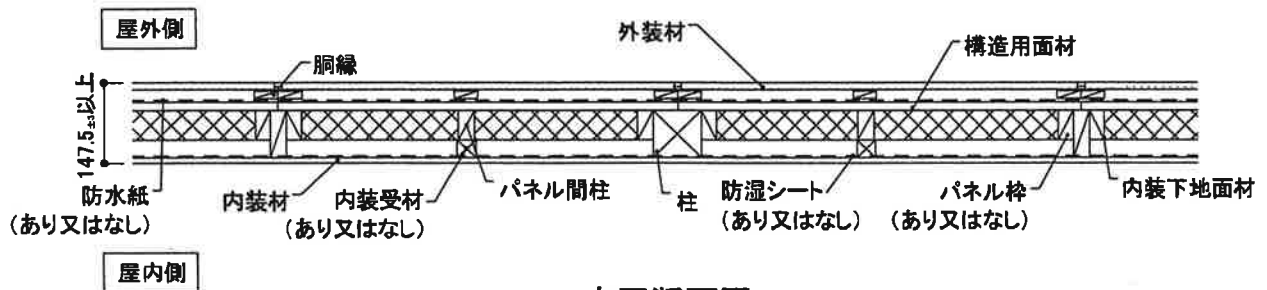


透視図

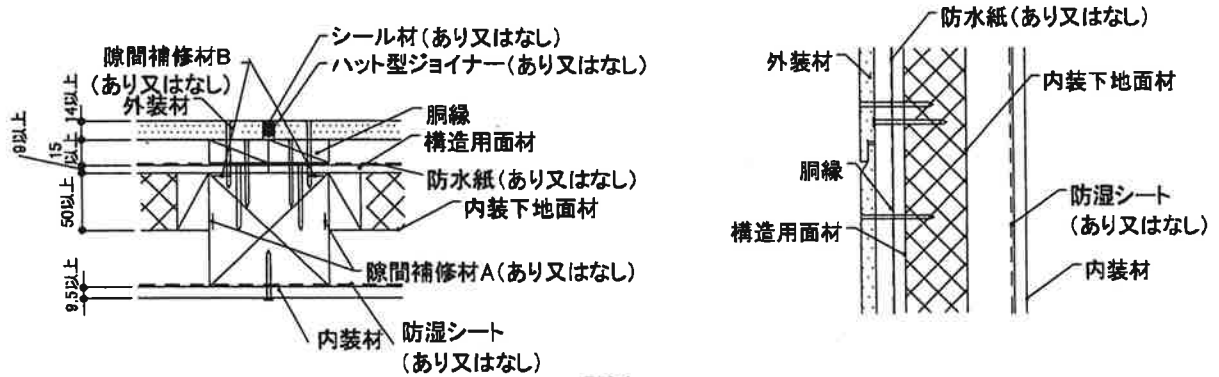
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり
※: 本評価内容に含まない



鉛直断面図



水平断面図

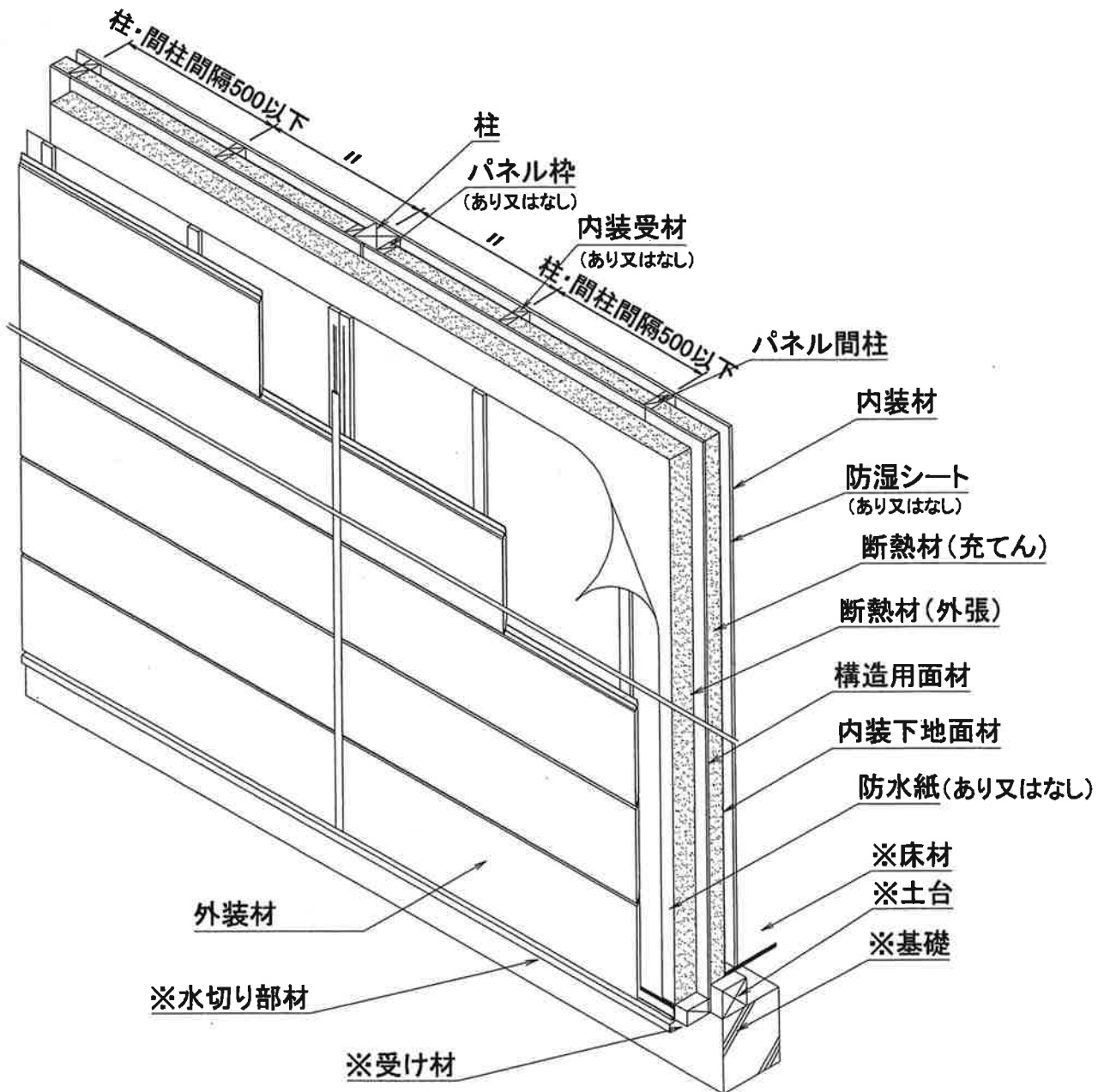


詳細図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

外装材横張・大壁（断熱材：充填+外張）の場合

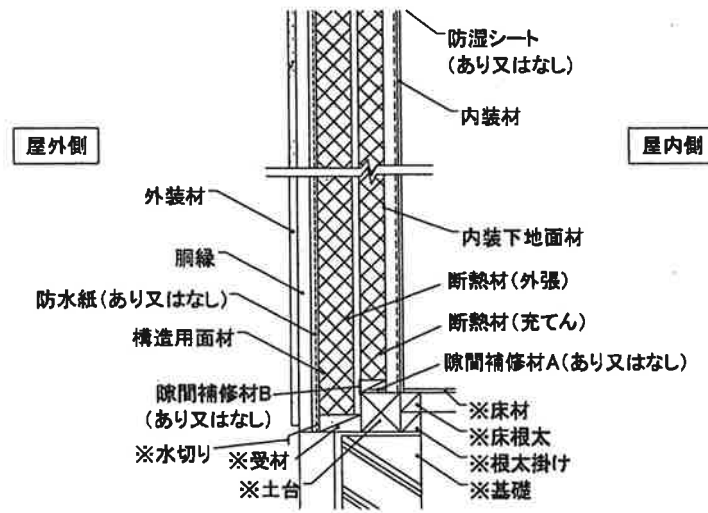


透視図

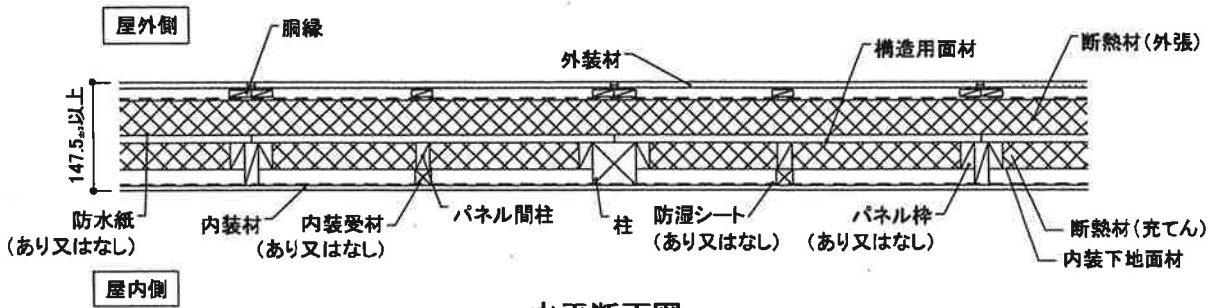
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

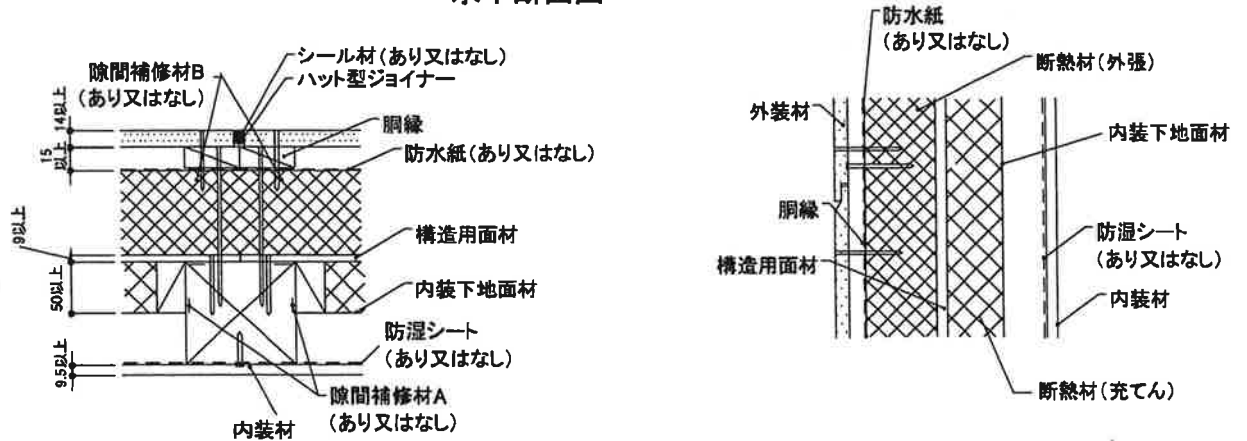
(寸法単位：mm)



鉛直断面図



水平断面図

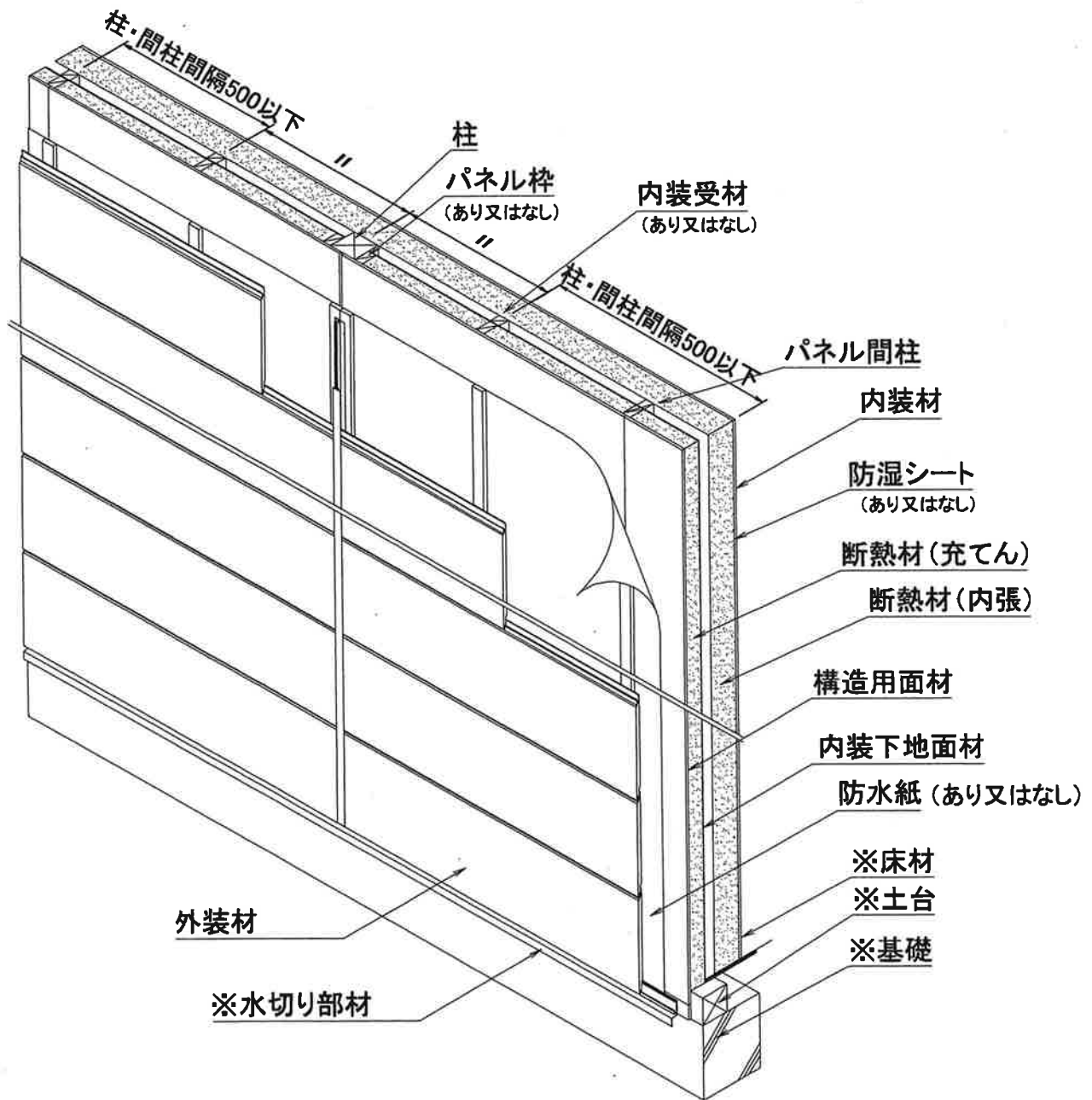


詳細図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

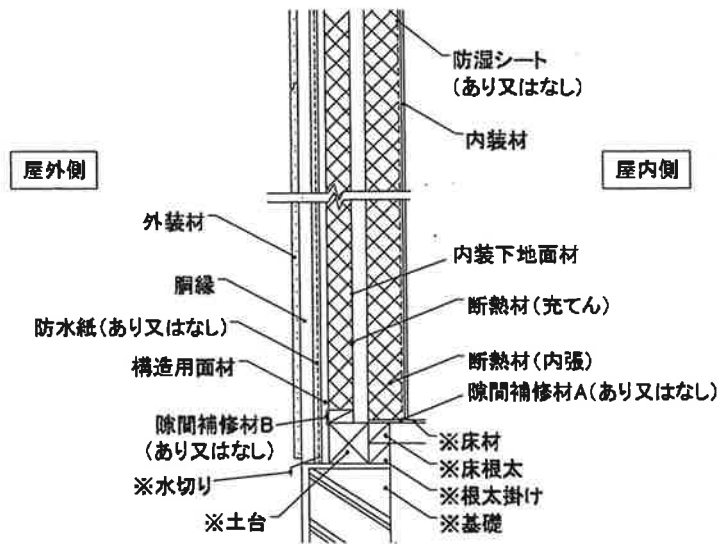
外装材横張・大壁（断熱材：充填+内張）の場合



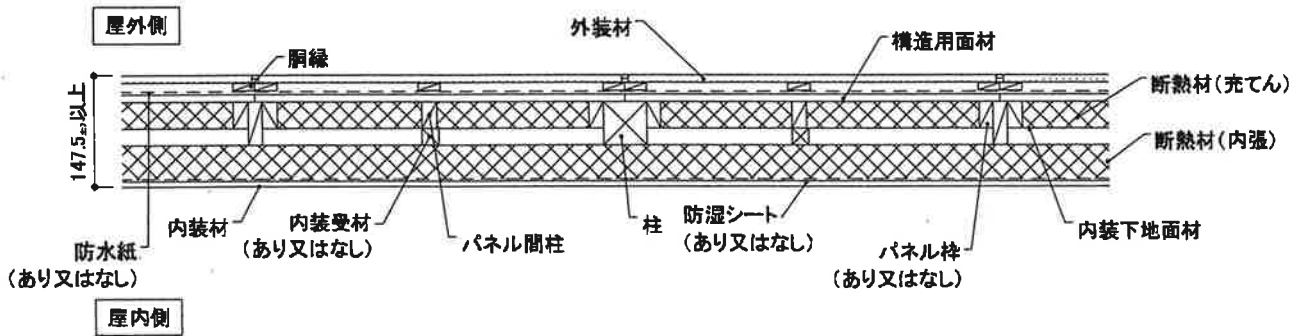
透視図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり
※：本評価内容に含まない

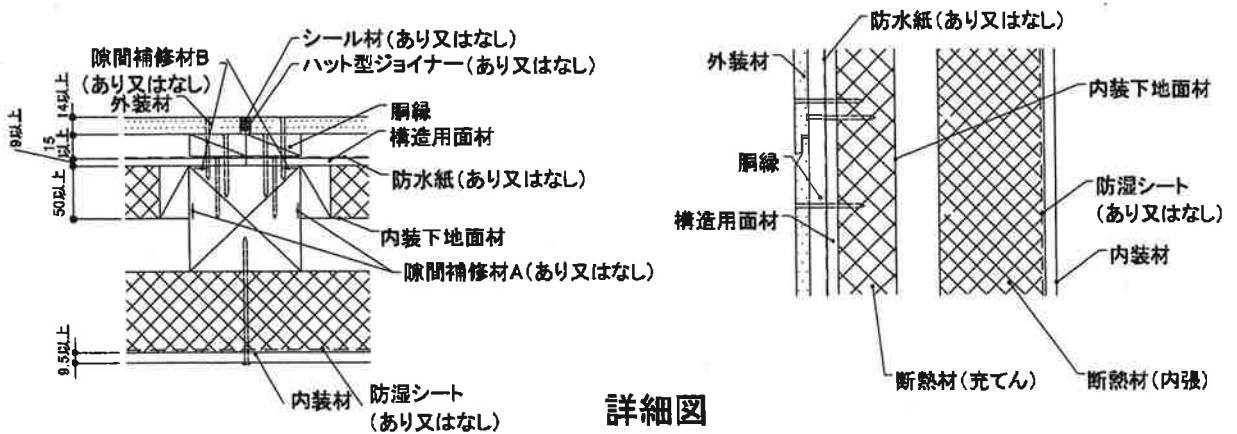
(寸法単位：mm)



鉛直断面図



水平断面図

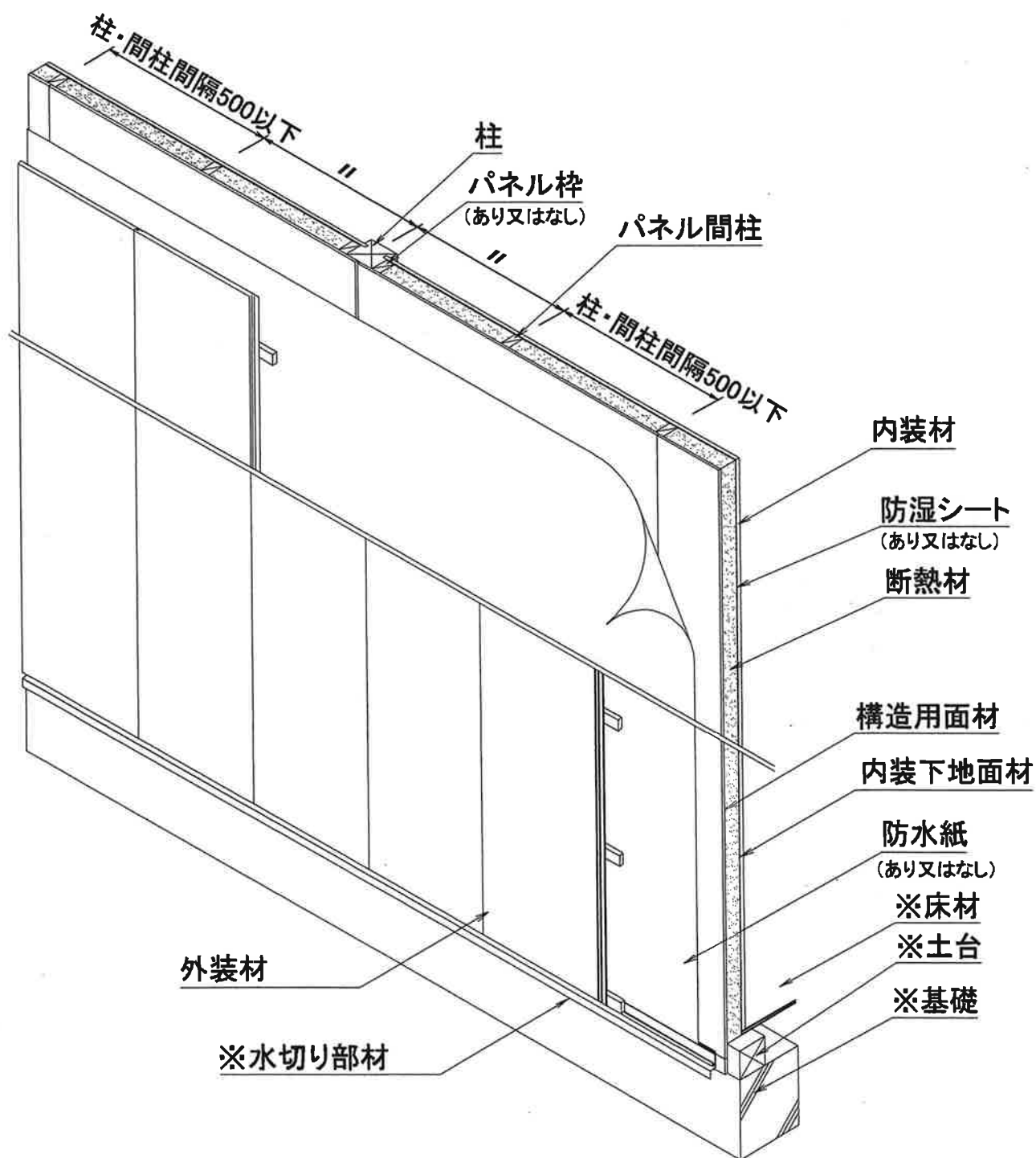


詳細図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

外装材縦張・真壁(欠き込みあり)の場合

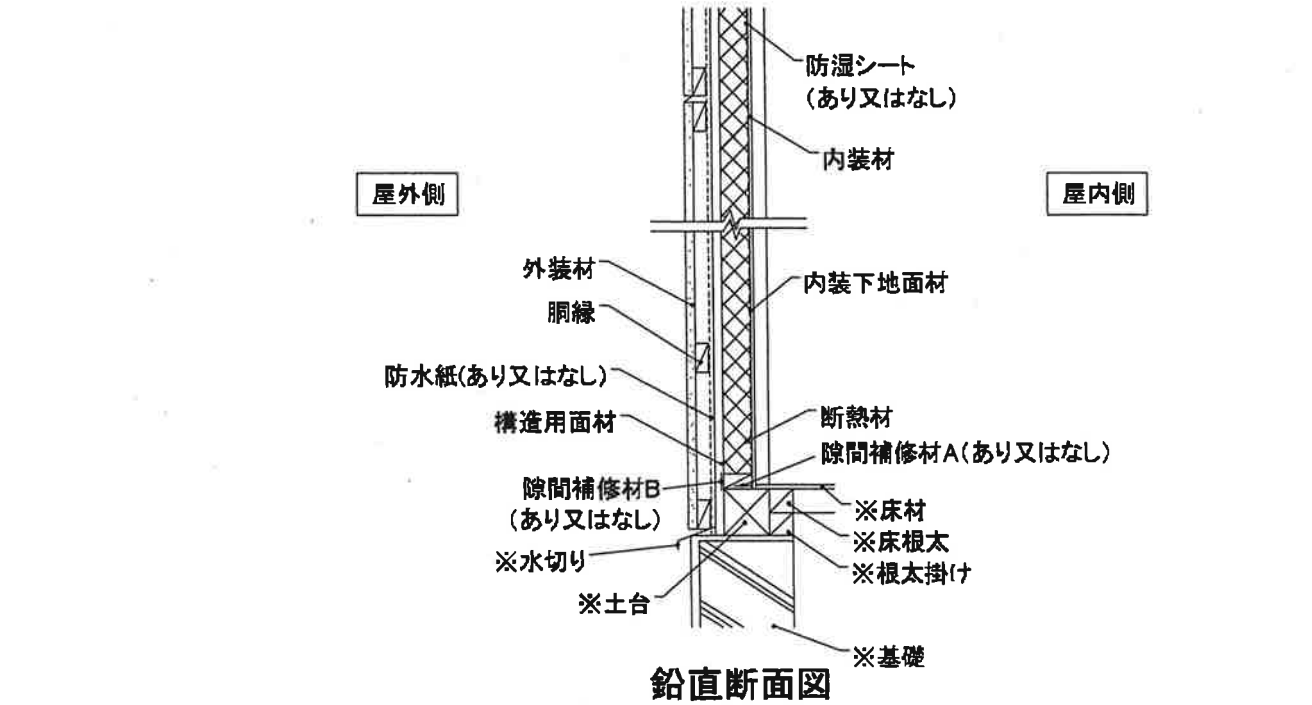


透視図

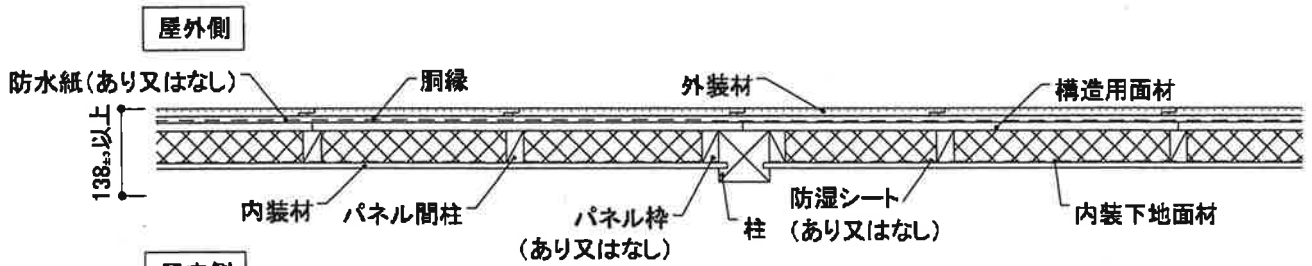
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※: 本評価内容に含まない

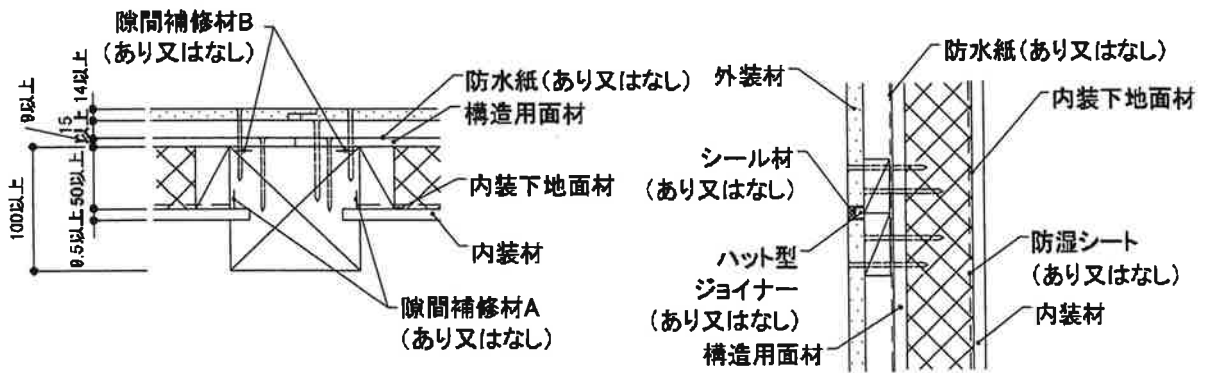
(寸法単位：mm)



鉛直断面図



水平断面図

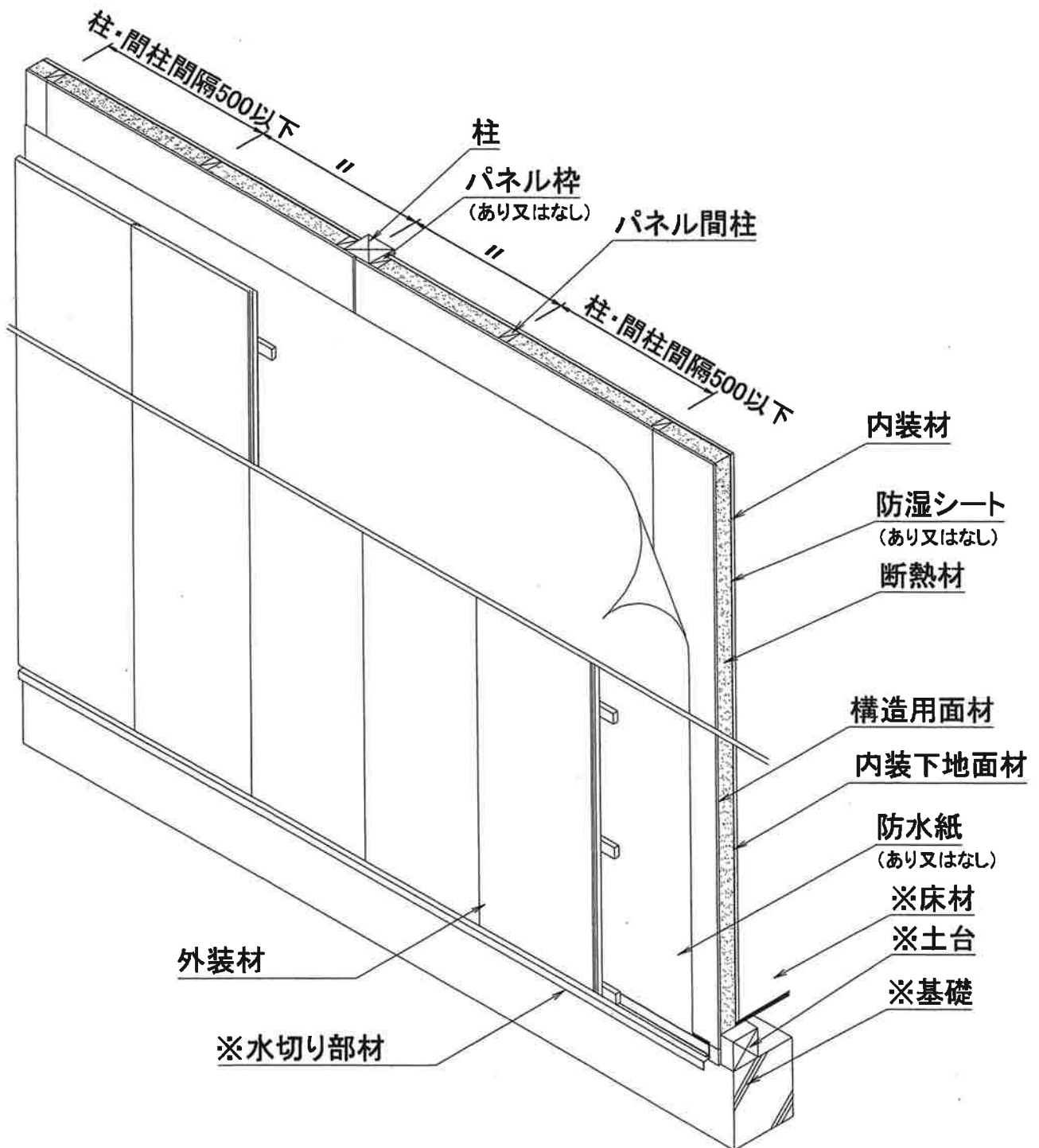


詳細図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

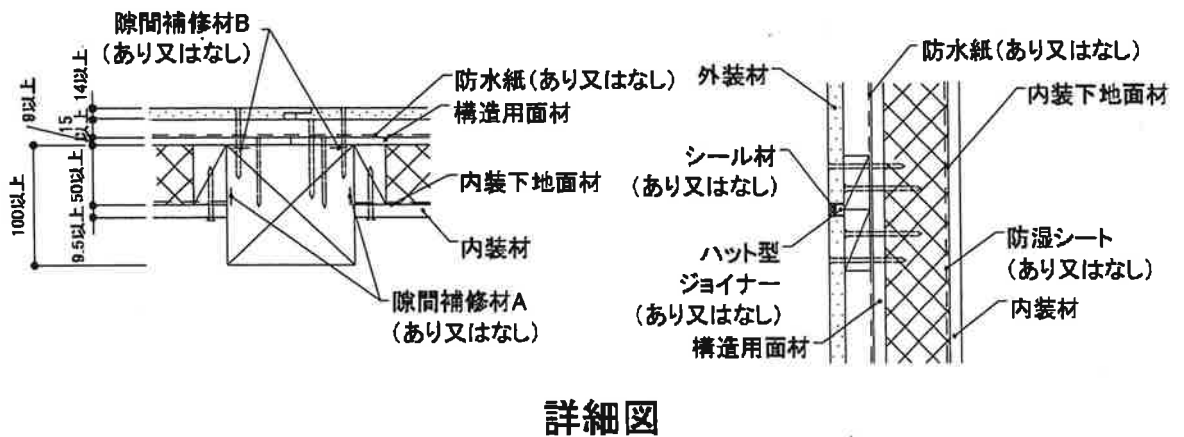
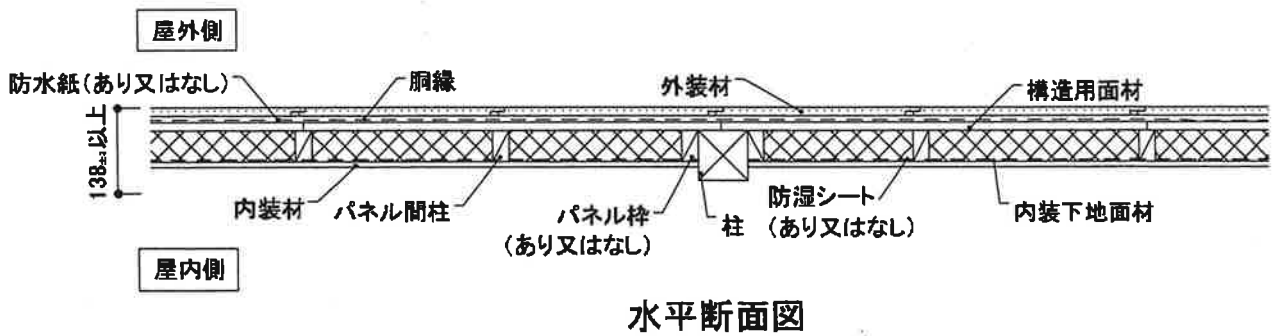
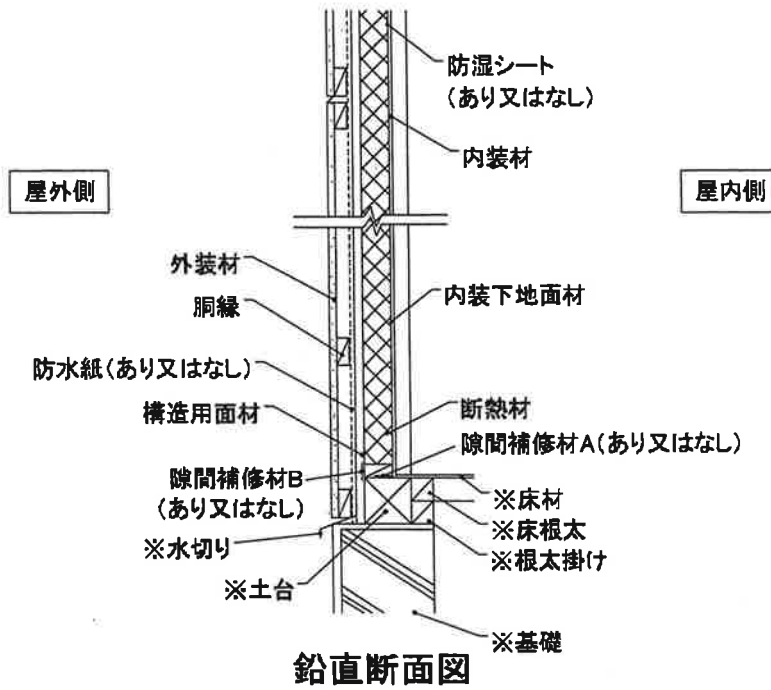
※：本評価内容に含まない

外装材縦張・真壁 (欠き込みなし)の場合



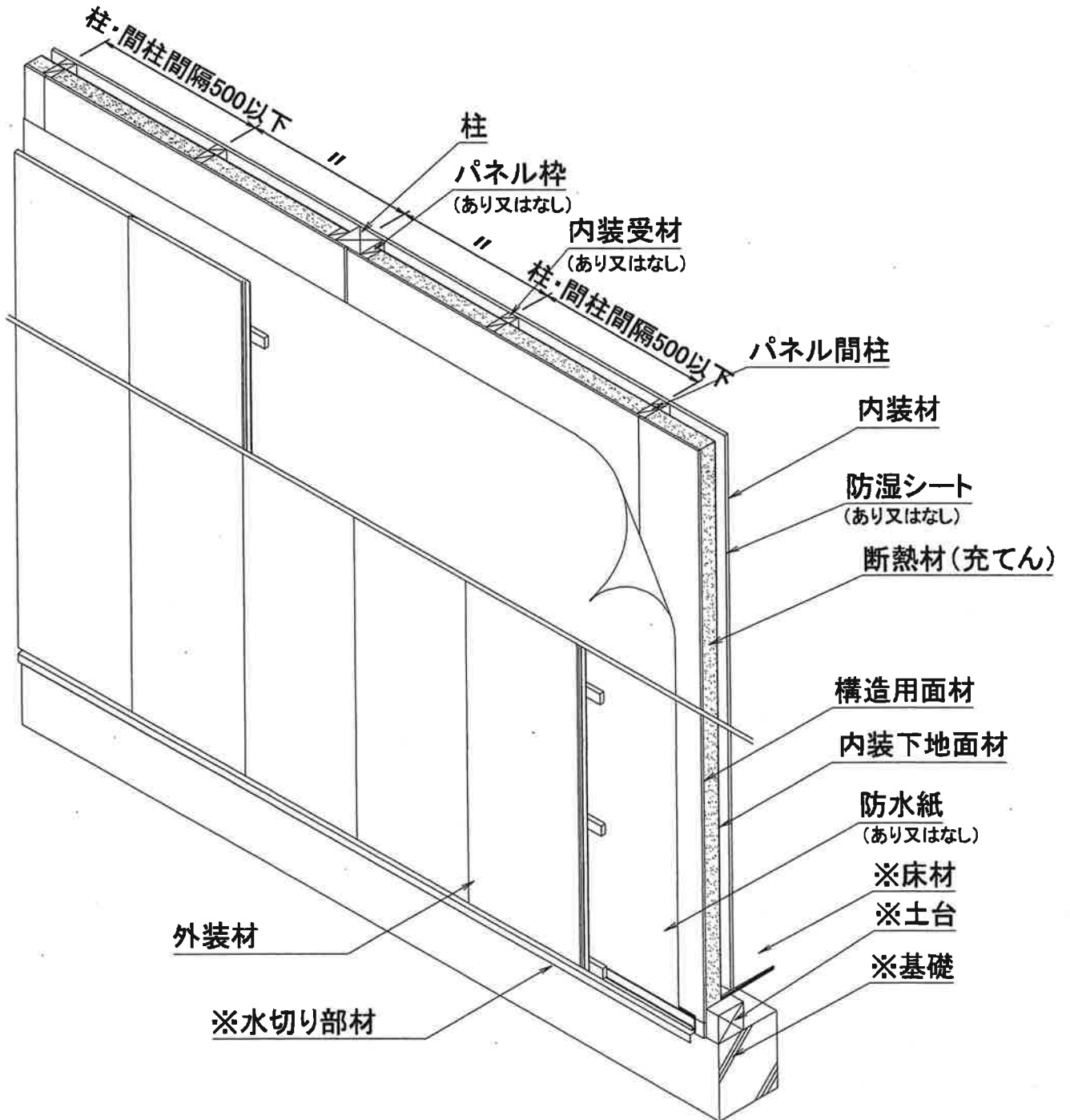
透視図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり
※: 本評価内容に含まない



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり
 ※：本評価内容に含まない

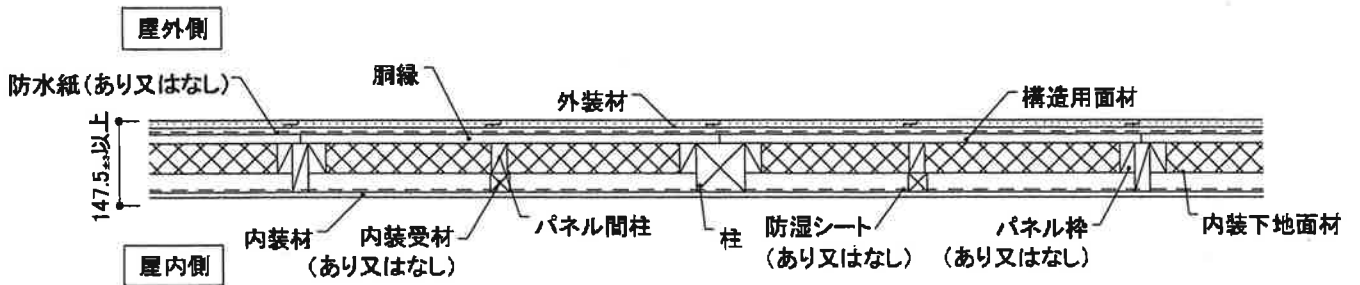
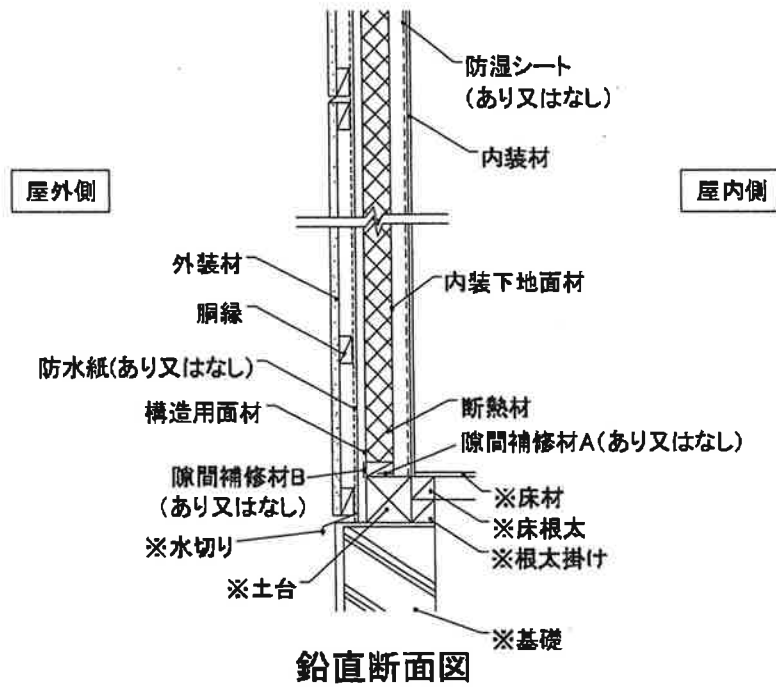
外装材縦張・大壁の場合



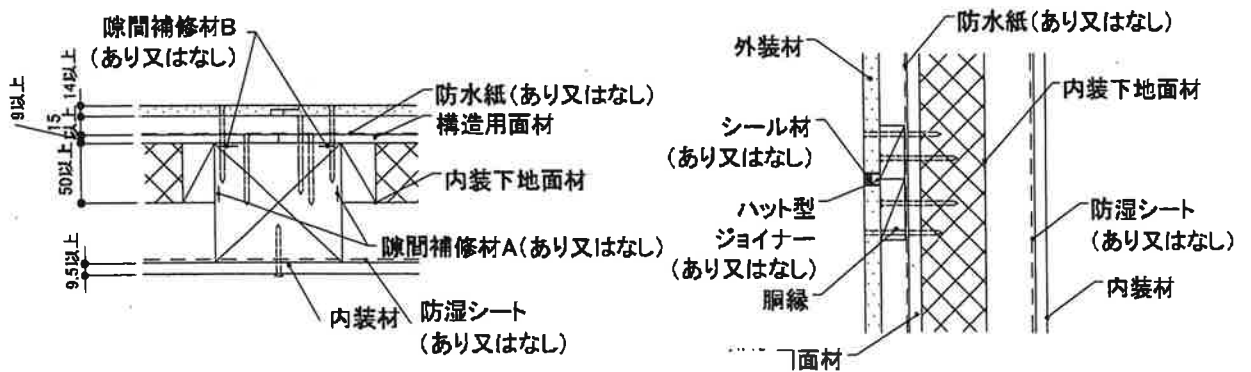
透視図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない



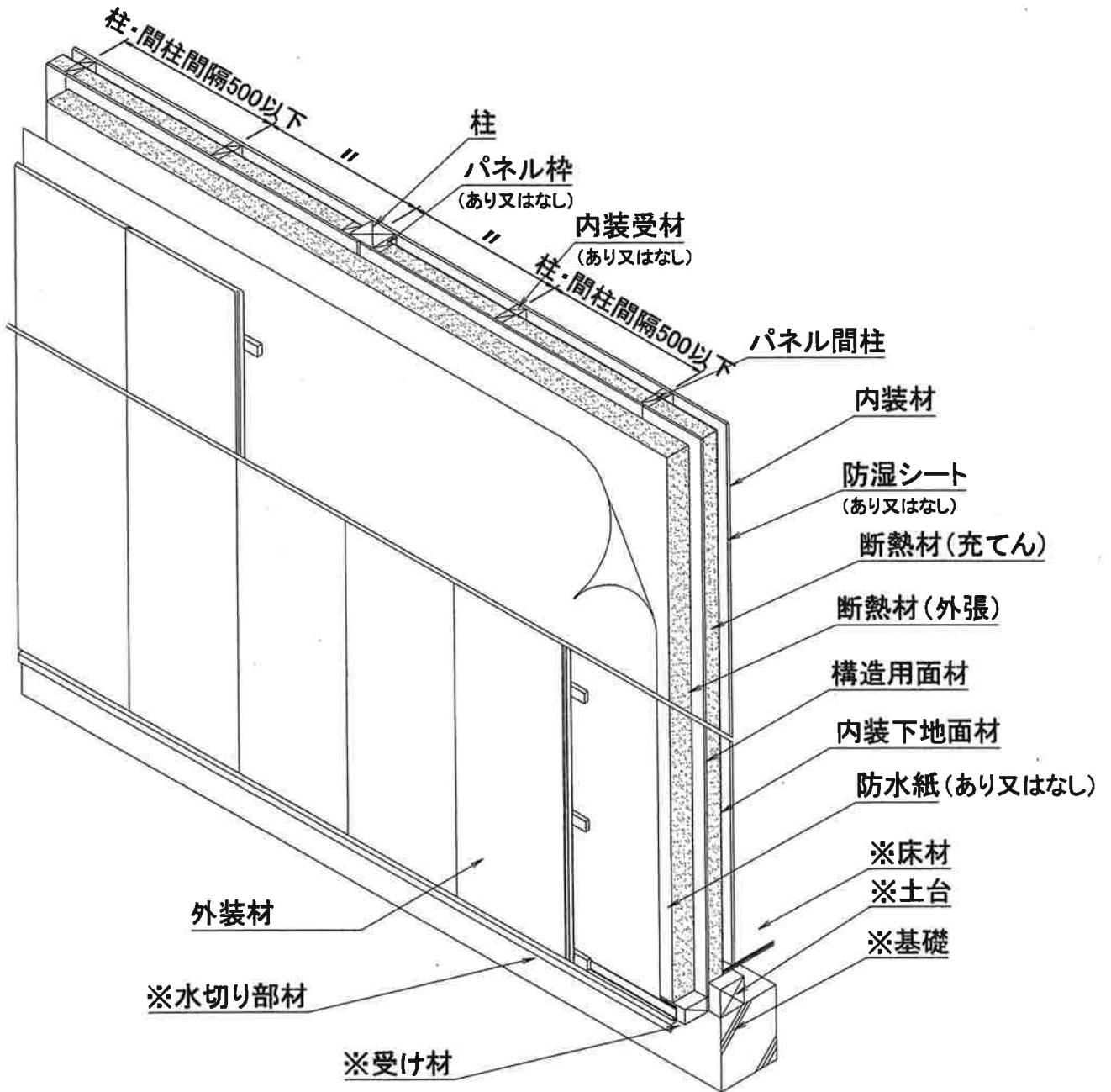
水平断面図



詳細図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

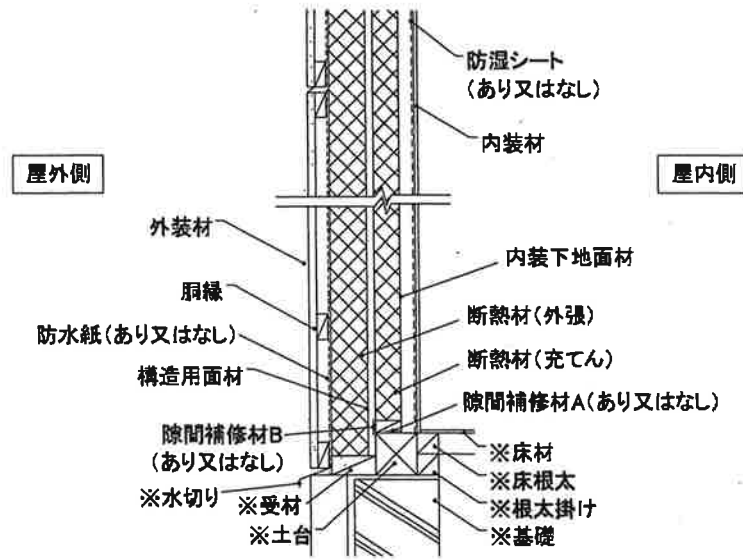


透視図

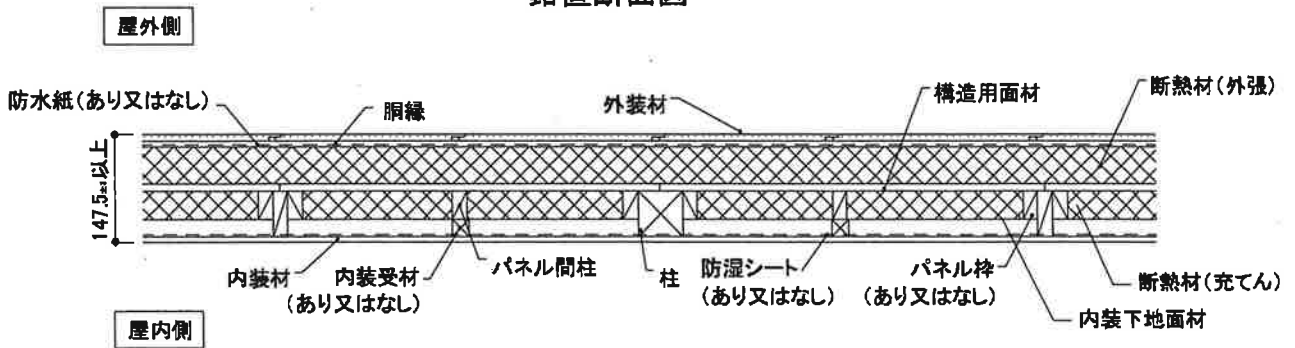
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

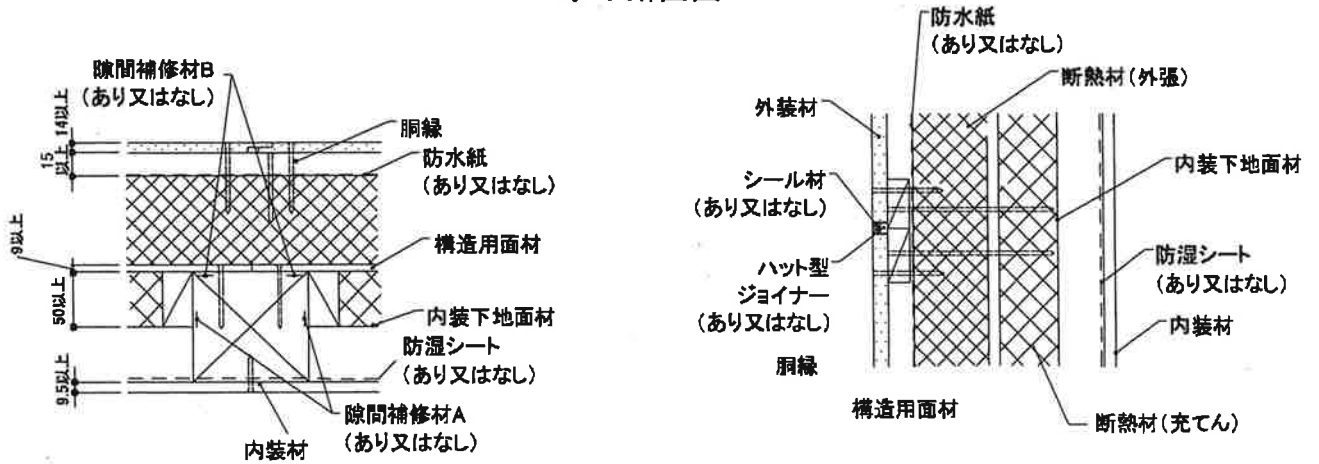
(寸法単位：mm)



鉛直断面図



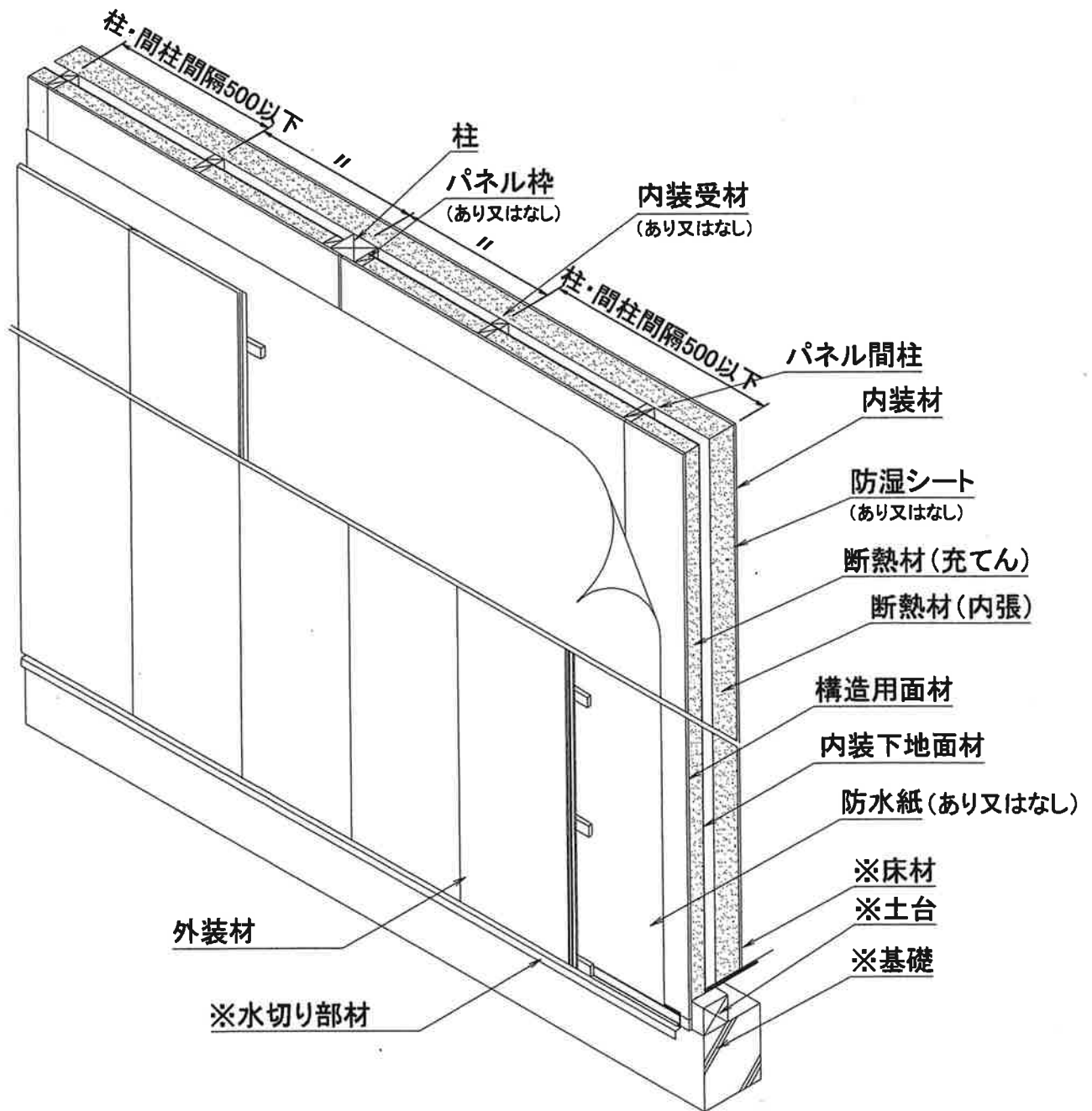
水平断面図



詳細図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

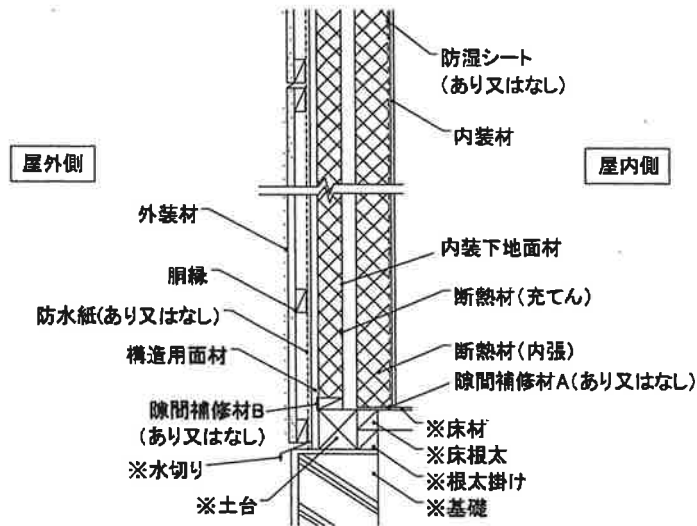
※：本評価内容に含まない



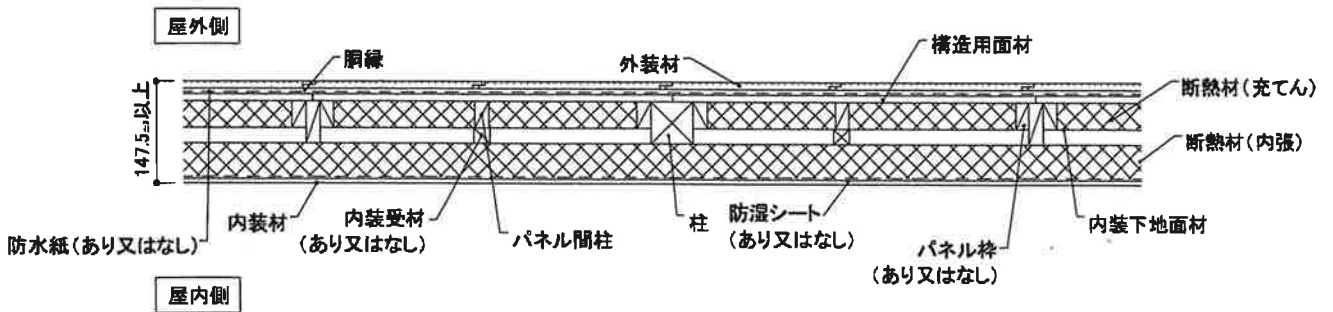
透視図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

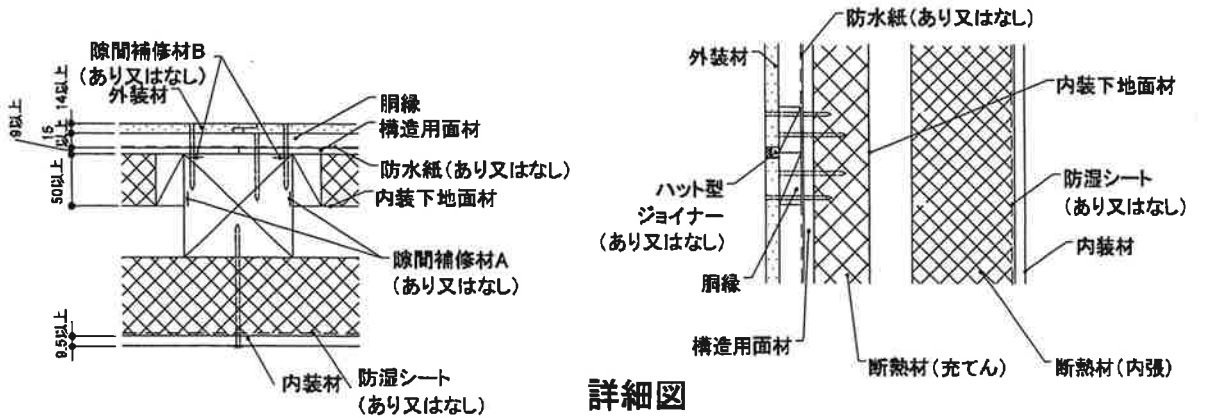
※：本評価内容に含まない



鉛直断面図

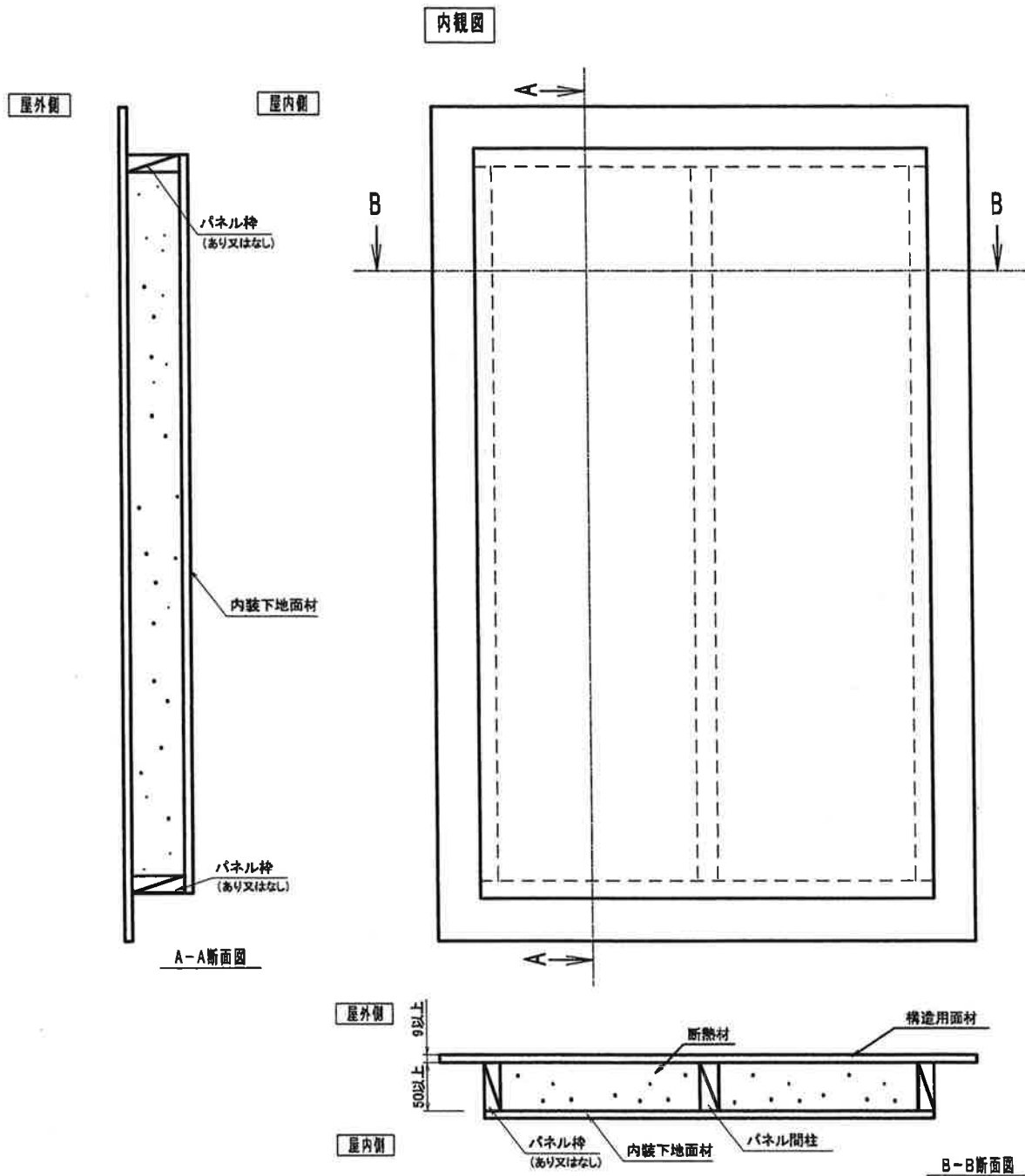


水平断面図



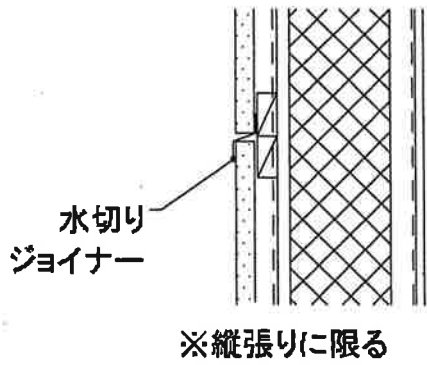
詳細図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり
 ※：本評価内容に含まない

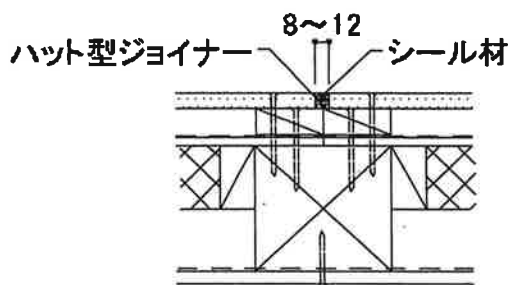


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり
パネル間柱は、パネル内包タイプと現場施工タイプがある

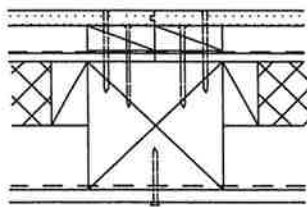
水切り目地



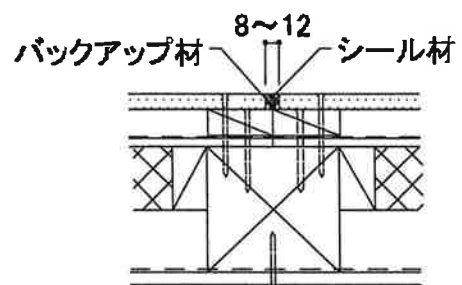
ハット型ジョイナー +シーリング目地



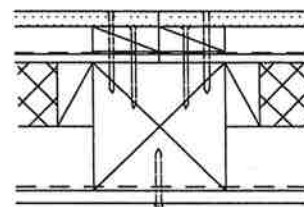
本実目地



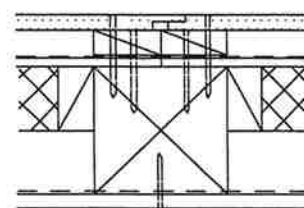
シーリング目地



突付け目地



合いじゃくり目地



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

5. 施工方法等

〈施工手順〉

(1) 前工程

- ①基礎を施工する。
- ②基礎天端の所定のアンカーボルト位置に土台を配置し、固定する。
- ③床を施工する。

(2) 断熱パネル取付け (断熱パネル 硬質ウレタンフォーム)

- ①状況に応じて表面紙(70g/m以上)を用いた断熱パネルを割付図に従い、所定の位置に配置する。
- ②柱間に断熱パネルをはめる。
- ③断熱パネルの構成部材である外側面材を、柱、その他の垂直部材、及び土台、胴差、その他の横架材に、くぎまたはねじで留付ける。
 - a. くぎで留付ける場合は、くぎを間隔 150 mm以下で打ち付ける。
 - b. くぎとねじ併用で留付ける場合は、くぎを間隔 150 mm以下で打ち付け、ねじは間隔 300 mm以下で留付けをする。
- ④外張断熱を施工する場合、(防水紙施工後) 胴縁の上から 500mm ピッチ以下の間隔でくぎまたはねじで下地に固定する。
- ⑤内張断熱を施工する場合、その上からせっこうボードを周辺部 150 mm以下・中間部 200 mm以下の間隔で柱・間柱等にくぎまたはねじを用いて留付ける。

(3) サイディングの取付け

サイディングの張方には、縦張、横張がある。

1) サイディング留付け用下地

- ①防水紙：横張を原則とし、重ね代は縦 90mm 以上、横 150mm 以上を確保する
- ②水切り：土台の下端に合わせ、水平に取付ける
- ③胴縁：500mm ピッチ以下で下地に取付ける
※外張断熱の場合、パネル固定も兼ねる。

2) サイディングの留付け

- くぎ又はねじ留め
- 外装材働き幅間隔以下で留付ける

3) 目地処理方法

- ①合いじゃくり・本実目地
目地部におけるサイディングの重ね代および隙間を確保し、上実・下実のいずれかの端部は相互に密着させる。
- ②水切り目地
 - ・目地部には、胴縁等の受材があること。
 - ・目地幅は 10mm 以下とする。
 - ・水切りは鋼板製とし、受材にくぎまたはねじで留付け、サイディングと 20mm 以上の重ね代をとる。
- ③シーリング目地
 - ・目地部には、胴縁等の受材があること。
 - ・目地幅は 8~12mm とし、必要に応じて、バックアップ材を入れる。
- ④突付け目地
 - ・目地部には、胴縁等の受材があること。

(4) 防湿シートの取付け

必要に応じ、防湿シートをたるみ、しわ等が生じないように柱・間柱等に留付ける。

(5) 内装材の取付け

1) せっこうボード取付け方法

せっこうボードの取付けは、周辺部 150 mm以下・中間部 200 mm以下の間隔で柱・間柱等に留付ける。

2) 留付け材

せっこうボードの留付けは、くぎまたはねじを用いて留付ける。